

令和7年度 こおり教育要覧



英語教育推進事業（中学生の異文化体験事業 ブリティッシュヒルズ）



献上桃の郷。
KOORI

桑折町教育委員会

歴史と文化の町 こおり

～桑折町の概要～

■ 桑折町の町章・花・木・鳥

町 章



昭和 40 年制定 上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表します。全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山を象徴しています。

町の花 「モモ」

桑折の春を花霞で美しく彩ります。
実は、くだものの町を代表する逸品です。

町の木 「アカマツ」「カヤ」

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

町の鳥 「カッコウ」

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



～「こおり」という地名と桑折町の誕生～

その名前が歴史に登場したのは奈良・平安時代。東山道に駅家(うまや)が設置され、郡家がおかれたところから桑折と改められました。昭和 30 年には町村合併促進法に基づいて旧桑折町、陸合村、伊達崎村、半田村が合併して今の“桑折町”が誕生しました。

■ 町民憲章

桑折町町民憲章

(昭和 60 年 9 月制定)

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとに開ひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。

私たちは、この町の、伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらにこの町を、活力ある町に育てて後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

- 一、 歴史と伝統を尊び、かおり高い、文化の町をつくりましょう。
- 一、 恵まれた自然を愛し、環境を整え、緑の町をつくりましょう。
- 一、 心身をきたえ、健康で、明るい町をつくりましょう。
- 一、 勤労にはげみ、活力ある、豊かな町をつくりましょう。
- 一、 きまりを守り、助け合う心を育て、住みよい町をつくりましょう。

■ 歴 史

原 始	○大字南半田の平林遺跡から、約2万5千年前の旧石器時代のものと考えられる石器群が出土している。
古 代	○6～7世紀頃の築造かと思われる塚野目古墳群の中では、大字伊達崎の錦木塚古墳が著名である。 ○平安期には郡の再編で信夫郡から伊達郡が分かれ、郡衙が置かれたことから『郡』の地名となったとされている。
中 世	○1189年(文治5年)源頼朝の藤原攻めで軍功のあった中村朝宗が伊達郡を与えられ姓を伊達とした。以来、伊達氏は大字万正寺の西山城を居城とし、17代政宗に至るまでその勢いが及んだ。
近 世	○豊臣秀吉の奥羽仕置きにより、伊達・信夫両郡は蒲生氏郷に与えられ、1598年(慶長3年)からは、上杉氏が領し、新田開発、殖産に力を注いだ。 ○佐藤新右衛門らによる西根下堰(1618年)西根上堰(1625年)の開墾や半田銀山の採鉱、養蚕業の隆盛などは、本町の歴史にとって重要である。 ○1686年(貞享3年)奥州街道・羽州街道の分岐点である桑折に桑折代官所が設置された。
近 代	○1883年(明治16年)伊達郡役所が保原から桑折に移転新築された。 ○1889年(明治22年)11村が合併して桑折町、睦合村、半田村、伊達崎村となった。 ○1955年(昭和30年)更に、1町3村が合併して桑折町が誕生した。
現 代	○2004年(平成16年)には、地方自治法及び市町村合併特例法(昭和40年法律第6号)に基づく伊達郡7町による合併協議会には加わったものの伊達市の合併には参加せず、自立の道を選択し、2015年(平成27年)1月1日に町制施行60周年を迎えた。 ○2021年(令和3年)町民に寄り添い、頼りにされる「町民のための庁舎」とともに、町民の安全・安心を支える「災害時に強い防災拠点となる庁舎」としての役場新庁舎が開庁。63年ぶりの庁舎移転となった。 ○2025年(令和7年)1月1日に町制施行70周年を迎えた。

■ 位置・面積・人口

本町は、福島県の北部、福島盆地の北に位置し、東西に7.5km・南北に8.3kmの方形の町で、北は国見町、西は福島市、南と東を伊達市にそれぞれ接しており、阿武隈川が町の東端を流れ、国道4号と東北自動車道、東北本線と東北新幹線が町を南北に縦貫しています。

また、令和2年には新たに東北中央自動車道のインターチェンジおよび東北自動車道とのジャンクションが設置され、交通の要衝として注目されています。

総面積：42.97 km²

北緯：37度50分 東経：140度30分

*住民基本台帳 各年4月1日現在

明治 9 年	8,900 人	令和 2 年	11,679 人
昭和 5 年	13,306 人	令和 3 年	11,443 人
昭和 25 年	17,307 人	令和 4 年	11,320 人
昭和 45 年	14,723 人	令和 5 年	11,126 人
平成 2 年	14,692 人	令和 6 年	11,023 人
平成 12 年	13,700 人	令和 7 年	10,895 人
平成 22 年	13,254 人		

■ 町長・副町長、議長・副議長

町 長	高 橋 宣 博	副町長	田 中 香代子
議 長	原 賢 志	副議長	川 名 静 子

桑折町教育委員会

桑折町教育大綱

(令和3年9月24日 総合教育会議で決定)

本教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、町長が、町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものである。

本町においては、今回新しい町総合計画を策定したところであり、その内容に基づいて教育大綱を次のように改め、計画期間も総合計画と同様に令和4年度から令和13年度までとする。

1 基本目標

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、町の将来像「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

2 基本方針

- (1) みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿（人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子）」の実現に努める。 〔子どもを大切にするまちづくり〕
- (2) 生涯学習・生涯スポーツ事業の推進を通して、みんなが生きがいをもち、心身ともに健康で活き生きと暮らせるまちづくりに貢献する。 〔健康長寿で元気なまちづくり〕
- (3) 歴史まちづくりの推進を通して、みんなが互いに協力し、町の魅力や元気を発信しながら、交流の輪が広がるまちづくりに貢献する。 〔交流で絆を育むまちづくり〕

3 施策の体系と主な取組み

(1) 乳幼児保育と教育の充実	
①待機児童ゼロの堅持	◆認定こども園の開設に伴う既存保育所の運営移行 ◆保育士や支援員の確保と施設・設備の充実 ◆支援員の研修や関係者間の情報共有による保育体制の充実
②幼児教育の質の向上と小中学校への接続	◆環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実 ◆認定こども園との連携に基づく幼児教育の実施 ◆研修会・先進園視察実施 ◆自然と触れ合う活動の充実：自然体験・歴史体験・栽培活動の実施 ◆保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育研究会・授業研究会の実施 ◆幼児・児童・生徒の交流活動の実施
③家庭への手厚い子育て支援	◆特別支援教育の充実：ことばの教室・就学相談会 ◆幼稚園給食費全額補助、幼稚園入園祝い品制服贈呈、病児病後児保育利用助成 ◆子育て参考図書配付や家庭教育講演会開催、子育て相談、子育て支援策の情報発信
(2) 学校教育の推進	
①一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進	◆学力向上（脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、家読奨励、桑折学習塾など） ◆体力向上（「早寝・早起き・朝ごはん」町民運動の推進、給食を活用した食育、運動身体づくりプログラム、運動継続の一校（園）一実践、地域スポーツとの連携など） ◆心の教育（不登校・いじめ対策、規律・礼節の重視、体験活動・平和学習・キャリア教育の充実、ふるさと教育（西山城見学など）の拡充など）
②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	◆英語教育（英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施など） ◆情報活用能力の強化（1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、家庭でもつながる通信環境を活用するオンライン授業や家庭学習、ICT支援員配置・活用と教職員研修など）

③一人一人を大切にす温かい教育	◆各種教育課題への対応（防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育など）
④家庭への手厚い子育て支援	◆特別支援教育（特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の確立など）
⑤教育施設・設備の充実	◆不登校対策（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、不登校が起きない学級・学校づくり、教育支援センターによる教育機会確保と学校復帰支援など）
⑥小中学校の在り方の検討	◆経済的支援（給食費助成・制服贈呈・就学援助・奨学資金貸与など） ◆家庭教育支援（参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援、情報提供や相談体制整備、子育て支援施策についての情報発信の強化など） ◆学校教育施設（長期的な維持・管理・整備計画の作成（学校プールの取り扱いも含む）） ◆給食センター（施設・設備の計画的な維持管理・整備、管理・運営の在り方の検討） ◆少子化への対応策の検討（学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析、小学校統合についての様々な観点からの検討など） ◆学校運営の改善の検討（働き方改革や学校・地域連携・協働の推進、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入の検討など）
（３）生涯学習の推進	
①生涯学習活動の推進	◆生涯学習に関するニーズの把握 ◆「桑折町生涯学習推進基本計画」の見直し ◆ライフステージに応じた多様な学習機会の提供
②公民館施設等の管理運営	◆主体的に学ぶ機会の推進と場の提供 ◆ICTを活用した学習機会の提供 ◆地域での施設活用に対する奨励・支援 ◆各施設の計画的な維持補修 ◆イコーゼ！及びよも～よの適切な管理運営 ◆公民館等施設の近隣市町村との相互利用検討
③芸術・文化の振興	◆芸術鑑賞会や文化講演会の開催 ◆町文化団体連絡協議会（町文化祭事業含む）及び加盟団体等の活動奨励・支援 ◆町民が主体的に活動成果を披露する場の提供
④多世代交流の推進	◆地域学校協働活動事業 ◆こおり地域クラブの活性化 ◆ボランティア人材の発掘 ◆地域リーダーの育成 ◆青少年育成事業の充実
⑤多文化交流の推進	◆姉妹都市エリザベスタウン市との相互交流 ◆国際交流を推進する自主的活動への支援
（４）生涯スポーツの推進	
①健康・体力づくりを目指す生涯スポーツの推進	◆各種スポーツイベント、講演会等の開催 ◆健康・体力づくりのための事業展開
②スポーツ団体等の支援	◆各種スポーツ団体への活動支援（補助金、奨励費等の交付）
③体育施設等の充実	◆スポーツ公園（仮称）整備の検討 ◆体育施設全般の有効的な管理運営方法の検討 ◆体育施設の経年劣化に伴う計画的な維持補修 ◆体育施設の近隣市町村との相互利用の検討
（５）歴史まちづくりの推進	
①歴史的風致維持向上計画の推進	◆歴史的風致維持向上計画の見直し及び推進 ◆歴史案内人育成と体制の充実 ◆既存の散策ルートを活用した歴史遺産周遊路の設定
②文化財の保護・活用の推進	◆史跡桑折西山城跡の保存団体を組織し、維持管理や案内を行う体制づくり ◆文化財の新規指定と国・県指定への格上げ ◆伝統文化の継承に対する支援及び発表の機会の提供
③桑折町文化記念館の復旧と役割の見直し	◆文化記念館の復旧 ◆文化記念館の歴史探訪・観光拠点機能の充実 ◆資料や美術品を保管・公開する博物館機能の充実

1 教育長・教育委員



教 育 長
佐 藤 浩 哉
(就任年月日：R6.4.1)
(任期：R6.4.1～R9.3.31)



教育委員(教育長職務代理者)
柴 田 宣 広
(就任年月日：H22.10.1)
(任期：R4.10.1～R8.9.30)



教育委員
鈴 木 キヨ子
(就任年月日：H27.10.1)
(任期：R3.10.1～R7.9.30)



教育委員
小 野 紀 章
(就任年月日：H28.10.1)
(任期：R6.10.1～R10.9.30)



教育委員
長 谷 富 子
(就任年月日：R1.10.1)
(任期：R5.10.1～R9.9.30)

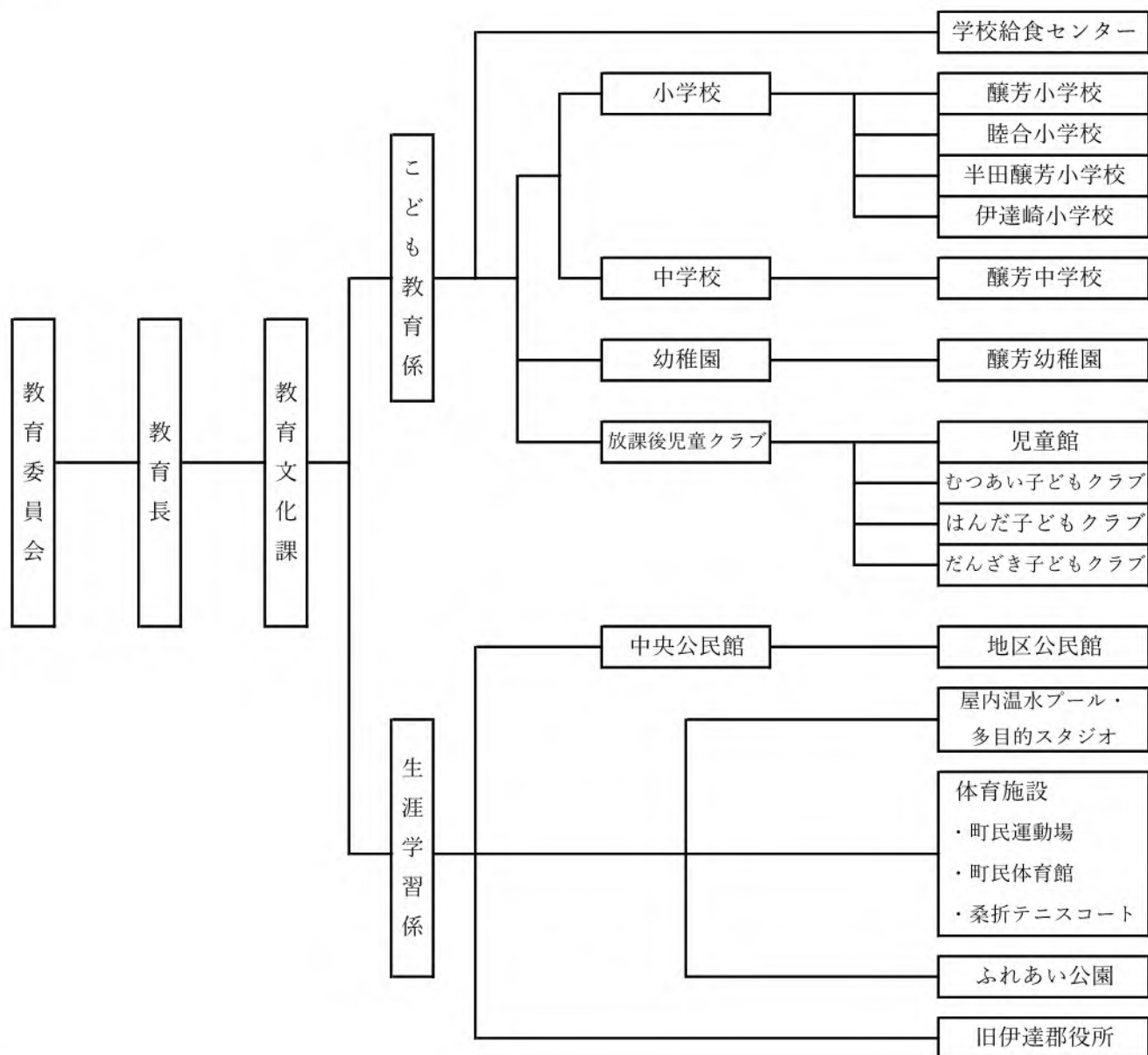
■歴代教育長

①熊坂惣兵衛 S30.4～	②遠藤 勉 S39.10～	③遠藤伊雄 S52.5～	④大友 寛 S60.10～	⑤村岡房之助 H1.10～
⑥岩谷敬恒 H8.10～	⑦荒海健二 H14.11～	⑧室井君男 H21.4～	⑨安藤重男 H23.1～	⑩会田智康 H27.4～

■歴代教育委員

氏 名	在任期間	氏 名	在任期間	氏 名	在任期間
熊坂惣兵衛	S30.7～57.9	八 巻 敏 榮	S51.10～59.9	半 澤 敏 子	H7.10～19.9
大 越 宇 市	S31.10～41.9	遠 藤 伊 雄	S52.5～60.9	岩 谷 敬 恒	H8.10～14.9
奥 山 覺 三	S31.10～34.9	高 原 ア イ	S53.10～59.9	佐 藤 好 久	H14.2～20.9
朽 木 吉 明	S31.10～51.9	柴 田 宣 教	S57.10～H6.9	荒 海 健 二	H14.11～21.3
佐 藤 俊 夫	S31.10～41.9	鈴 木 三 元	S58.10～H7.9	佐 藤 善 利	H18.10～22.9
鈴 木 タ ネ	S35.10～50.9	半澤金兵衛	S59.10～H4.9	大 波 敏 子	H18.10～R1.9
遠 藤 勉	S39.10～52.4	石 幡 セ ヅ 子	S59.10～H4.9	安 藤 重 男	H19.10～27.3
古 山 千 代 壽	S41.10～45.9	大 友 寛	S60.10～H1.9	安 齋 恵 子	H20.10～28.9
氏家武兵衛	S41.10～50.9	村岡房之助	H1.10～8.9	室 井 君 男	H21.4～22.12
八木沼惣兵衛	S45.10～57.9	大 内 一 夫	H4.10～18.9	羽 根 田 忠 一	H23.1～27.9
角 田 道 子	S50.10～53.1	粟 野 章	H4.10～13.12		
佐々木才吉	S50.10～58.9	八木沼惣一	H6.10～18.9		

2 組織図



職 名		氏 名	職 名		氏 名
参事兼教育文化課長		八 卷 靖 之	副参事		佐 藤 克 彦
こども教育係	主任主査兼係長	菅 野 健 二	生涯学習係	主任主査兼係長	斉 藤 雅 史
	主任主査兼学校給食センター所長	早 田 圭 一 郎		中央公民館長	三 村 隆 二
	指導主事	遠 藤 和 宏		主任学芸員	井 沼 千 秋
	指導主事	須 賀 智		主任主査	鈴 木 真 英
	主任調整官	長 谷 部 清 治		主任主査	岡 崎 智 仁
	主任主査	渡 邊 俊 介		主任主査	坂 田 勝 則
	主任主査	藤 島 わ か ば		主事	村 上 桃 子
	主査	佐 藤 太 有		公民館運営推進員	旗 野 宣 久
	調整官	片 平 真 由 美		公民館運営推進員	野 木 由 美 子
	主事	安 田 耕			
	主事	千 葉 竜 汰 郎			
	英語指導助手	チヨ・ライアン・ギョンス			

3 予 算

■教育予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
1 教育総務費 548,642	教育委員会費 事務局費 子育て支援事業費	1,011 232,105 315,526	教育委員会運営費 職員人件費 事務局管理費 就学事務費 英語指導助手受入事業費 学力向上対策事業費 スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業委託費 子育て支援事業費
2 小学校費 112,355	学校管理費 教育振興費	96,923 15,432	小学校管理総務費 小学校管理費 小学校運営総務費 小学校運営費
3 中学校費 37,377	学校管理費 教育振興費	33,479 3,898	中学校管理総務費 中学校管理費 中学校運営費
4 幼稚園費 237,122	幼稚園費	237,122	職員人件費 幼稚園管理運営費
5 社会教育費 127,792	社会教育総務費 公民館費 文化財保護費	61,600 45,874 20,318	職員人件費 社会教育総務管理費 生涯学習振興費 公民館総務費 公民館活動振興費 公民館施設維持管理費 芸術・文化活動振興費 文化財保護総務費 文化財調査費 文化財保護管理費
6 保健体育費 256,216	保健体育総務費 体育施設費 給食施設費	353 92,552 163,311	保健体育総務管理費 体育活動振興費 体育施設維持管理費 給食センター総務費 給食センター施設運営費

■福祉予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
2 児童福祉費 (269,846) うち 66,593	児童福祉費	66,593	児童館管理運営費 放課後児童健全育成事業費

4 重 点

I 基本目標

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、町の将来像「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

II 基本方針

1 子どもを大切にすまちづくり

みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿（人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子）」の実現に努める。

2 健康長寿で元気なまちづくり

生涯学習・生涯スポーツ事業の推進を通して、みんなが生きがいを持ち、心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちづくりに貢献する。

3 交流で絆を育むまちづくり

歴史まちづくりの推進を通して、みんなが互いに協力し、町の魅力や元気を発信しながら、交流の輪が広がるまちづくりに貢献する。

III 重点施策

1 乳幼児保育と教育の充実

(1) 待機児童ゼロの堅持

① 認定こども園の開設に伴う既存保育所の運営移行

(2) 幼児教育の質の向上と小中学校への接続

① 環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実

② 幼稚園・小学校・中学校の合同保育研究会・授業研究会の実施（架け橋期カリキュラムの検討）

③ 特別支援教育の充実：ことばの教室・就学相談会

(3) 家庭への手厚い子育て支援

① 幼稚園給食実施の充実

2 学校教育の推進

(1) 一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進

- ① 脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算集中反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、桑折学習塾参加奨励
- ② 運動身体づくりプログラム、運動継続の各校（園）一実践
- ③ 不登校・いじめ対策
- (2) 新しい時代に必要となる資質・能力の育成
 - ① 英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施
 - ② 1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、ICT支援員配置・活用と教職員研修、ICT教育環境の整備と充実、AIドリルの活用
 - ③ 防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育
- (3) 一人一人を大切にする温かい教育
 - ① 特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用
 - ② 不登校が起きない学級・学校づくり、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、教育支援センター等による教育機会確保と学校復帰支援
- (4) 家庭への手厚い子育て支援
 - ① 学校給食費費用全額助成
 - ② 小学校家庭教育講演会の開催
- (5) 教育施設・設備の充実
 - ① 施設・設備の計画的な維持管理・整備
- (6) 小中学校の在り方の検討
 - ① 小学校統合についての様々な観点からの検討による提言
 - ② 小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入などの検討

3 生涯学習の推進

- (1) 学びの環境づくりの推進
 - ① 生涯学習関連施設の整備・管理運営と効果的な利活用
 - ② 地域人材の活用に向けた発掘と養成
- (2) 学びの機会の提供と充実
 - ① 広報・情報発信の充実
 - ② 多様な学習機会の提供と充実
 - ③ 芸術・文化活動の充実
- (3) 学びを生かしたまちづくりの推進
 - ① 成果の発表や活躍の場・機会の創出
 - ② 学びを通じた地域活性化の推進
 - ③ 身近な地域づくり活動の奨励・支援

4 生涯スポーツの推進

(1) 生涯スポーツ活動の推進

- ① 各種スポーツイベント、健康づくり講演会や成人講座などの開催
- ② 健康・体力づくりのための事業展開

(2) スポーツ関係団体との連携強化

- ① 各種スポーツ団体への活動支援

(3) 体育施設等の充実

- ① 体育施設の計画的な維持補修

5 歴史まちづくりの推進

(1) 歴史的風致の維持向上

- ① 歴史的遺産の保存・活用
- ② 歴史案内人の育成と体制の充実及び郷土学習の推進

(2) 文化財の保護・活用の推進

- ① 「桑折西山城を守る会」や「桑折町文化財保存会」等の運営支援
- ② 旧伊達郡役所「保存活用計画」の策定
- ③ 歴史的資源（古地図等）のデジタル化推進
- ④ 資料や美術品等のオンライン公開の充実や巡回展示の実施
- ⑤ 「歴史観光交流センター」整備事業

学校教育

1 幼稚園・認定こども園・小学校・中学校一覧

(令和7年5月1日現在)

■幼稚園

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	園 長	学級数	園児数
醸 芳 幼 稚 園	969-1613	字桑島三 11-24	582-3014・3024	吉田 恵	9	161

■幼保連携型認定こども園（私立）

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	園 長	学級数	園児数
こおり青空こども園	969-1606	字東段 30-4	529-6387・6384	加藤 純子	12	115

■小中学校

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	校 長	学級数	児 童 生徒数
醸 芳 小 学 校	969-1613	字桑島三 2-8	582-2014・2021	花輪 忠康	16	276
睦 合 小 学 校	969-1652	成田字堰上 46-3	582-2469・2489	阿部 裕好	4	32
半田醸芳小学校	969-1641	南半田字上田町 5	582-3106・3799	丹野 潔	6	86
伊達崎小学校	969-1662	下郡字細町 1	582-5870・6830	青柳 俊宏	7	84
醸 芳 中 学 校	969-1661	上郡字柳下 5	582-3162・3157	佐久間光児	10	241

○令和7年度 幼小中学校現職教育研究主題

名 称	研究教科等	研 究 主 題
醸 芳 幼 稚 園	幼児教育	幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について
醸 芳 小 学 校	全教科	教科の特質に応じて見方・考え方を働かせ、主体的に考え表現する力の育成 ～児童自ら学びをつくる醸行展開の工夫～
睦 合 小 学 校	全教科	自ら考え、共有し、学びを深め、生かす児童の育成 ～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』を目指す授業づくり～
半田醸芳小学校	全教科	課題解決への道筋を追究する児童の育成 4 年次 「根拠」や「理由」を明確にした課題解決
伊達崎小学校	全教科	自ら考え、ともに学びを深める児童の育成 ～「対話的な学び」に向けた指導の工夫を通して～
醸 芳 中 学 校	全教科	主体性を育み、対話的で深い学びを実現する探究型授業 ～生徒のいきいきとした活動・学びのある 授業づくりを目指して～

2 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革

令和7年3月末現在

【釀芳保育所】

昭和26年4月	県知事の許可を得て開設
昭和36年12月	保育室サンルーム 5坪増築(16.5 m ²)
昭和50年4月	保育室改造 10 m ² (北西保育室) テラス(16.52 m ²)
昭和53年4月	保育室改造(南側2保育室)
昭和55年8月	新園舎改築工事着工
昭和56年1月	近代的な保育室が完成 定員 120名
平成12年2月	大規模修繕工事完成(乳児室の整備)
平成12年4月	乳児保育開始、地域子育て支援センター開設
平成20年4月	町内幼稚園・保育所の一体運営化に伴い『桑折町こども園』の中に位置づけられる
平成23年7月	所庭表土除去及び所舎の除染
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び施設周り除染
平成25年6月	緊急メールシステム導入
平成27年9月	地域子育て支援センターを屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」へ移設 (平成30年4月 事業実施主体を保健福祉課に所管換え)
令和7年3月	釀芳保育所閉所

【釀芳幼稚園】

明治42年4月	字桑島に桑折幼稚園開設(県下第2番目) 園児 27人
昭和22年4月	釀芳幼稚園と改称
昭和55年1月	独立の現園舎完成 移転
平成6年3月	2年保育に伴い職員室を増設
平成6年4月	2年保育開始
平成10年4月	預かり保育開始
平成14年3月	3年保育に伴い西側に園舎増築
平成14年4月	3年保育開始(6学級化)、釀芳小より分離し独立園へ
平成18年4月	専任園長配置
平成20年4月	町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
平成22年10月	太陽光発電設置工事
平成23年7月	放射線量低減化のため園庭の表土除去、園舎の除染
平成23年8月	各保育室・預かり室・職員室エアコン設置
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び園舎周り除染
平成25年4月	緊急メールシステム導入
平成26年6月	築山、鉄棒・ジャングルジム・雲梯塗装、滑り台鉄筋修繕完了
平成27年9月	西側(年中・預かり保育室脇)駐車場拡張整備
平成29年3月	釀芳幼稚園増築園舎落成、複合遊具新設、鉄棒更新
平成29年4月	町内4幼稚園(釀芳・睦合・半田釀芳・伊達崎)を統合した新生「釀芳幼稚園」開園
平成29年11月	園舎改修工事(園長室・保健室・渡り廊下新設・職員室改修)、固定遊具更新(ブランコ・ジャングルジム・雲梯)
平成30年4月	複合遊具撤去
令和元年7月	複合遊具「ホタピータワー」設置
令和7年3月	釀芳保育所閉所により『桑折町こども園』の廃止

【醸芳小学校】

明治 6 年 9 月	字堰上に「公立桑折小学校」創立(木造 45 坪)
明治 9 年 6 月	明治天皇東北巡幸時本校に御小休、木戸孝允「醸芳」揮毫
明治 19 年 4 月	西町に新校舎落成
明治 44 年 12 月	字桑島の現在地に校舎新築(木造 829 坪)
昭和 5 年 4 月	家政女学校併置(昭和 15 年実科高等女学校となる)
昭和 22 年 4 月	桑折町立醸芳小学校と改称、醸芳中学校併置
昭和 28 年 11 月	創立 80 周年記念式、現校歌制定
昭和 33 年 7 月	プール建設落成(10m×25m)
昭和 35 年 4 月	児童数ピーク 833 人
昭和 38 年 9 月	創立 90 周年記念式、県造形教育研究会開催
昭和 40 年 4 月	体育館落成(鉄骨 809 m ²)
昭和 43 年 1 月	センター制完全給食実施、校舎建築始まる
昭和 45 年 1 月	現在の校舎完成(鉄筋 3,239 m ²)
昭和 48 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行(はやぶさ像建立)
昭和 54 年 10 月	優良 PTA として文部大臣表彰
昭和 55 年 11 月	東北造形教育研究大会開催、学研教育賞受賞
昭和 59 年 11 月	東北理科研究大会開催
昭和 62 年 10 月	県体育研究公開、東京端光小との交流始まる(4 月)
昭和 63 年 12 月	県学校体育優良校受賞、全国交通安全優良校受賞
平成 2 年 11 月	県指定国際交流推進研究校公開、中庭造園
平成 7 年 10 月	福島国体(ソフト)開始式に 5・6 年生参加、スポ少サッカー全国大会出場
平成 8 年 11 月	校舎大規模改造第 1 年次完成(普通教室棟)
平成 9 年 11 月	校舎大規模改造第 2 年次完成(特別教室・管理棟)、県小教研社会科研究公開
平成 10 年 2 月	コンピューター 21 台導入
平成 12 年 10 月	醸芳っ子フェスティバル開始、学校評議員導入
平成 13 年 4 月	校地内ビオトープ造成、学校支援ボランティア活動開始
平成 14 年 4 月	ボランティア普及協力校、コンピューター 21 台新調、地域交流センター完成
平成 15 年 3 月	新体育館(地域交流センター)完成
平成 15 年 10 月	県小教研音楽科研究公開、校庭造成
平成 15 年 10 月	創立 130 年記念コンサート
平成 15 年度	校庭の芝生化事業(創立 130 周年事業)
平成 16 年 2 月	福島夢実現プラン学力向上事業研究公開、航空写真撮影、防球ネット工事
平成 17 年 4 月	学力向上拠点事業(17～19 年度文部科学省指定)、情緒障害学級(かやの実)設置、安全ネットワーク会議設立
平成 21 年 4 月	プール循環ろ過装置設置、校内インターホン設置
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、地域交流センター避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去[～7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土及び校庭芝生の除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染[～8 月]
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校[～平成 28 年度]
平成 26 年 6 月	校舎・ベランダの手すり等の塗装完了
平成 27 年 8 月	登り棒設置、体育館玄関引き戸交換
平成 28 年 8 月	体育館北側汚染土撤去及び駐車場整備
平成 29 年 4 月	かやの実(知的)学級設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定
平成 30 年 4 月	まなびかた教室(通級指導教室)設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロッ

平成 30 年 9 月	ト校指定(第二年次)
令和元年 4 月	創立 145 年記念式
令和 3 年 2 月	「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定(第三年次)
令和 4 年 3 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)
令和 5 年 4 月	R3.2.13 地震による体育館屋根復旧工事完了
令和 5 年 9 月	特別支援教室増設
令和 6 年 11 月	創立 150 周年記念式典
	教室のエアコン設備更新

【睦合小学校】

明治 7 年 8 月	慈雲寺に成田・松原村組合立成田小学校開設
明治 7 年 9 月	観音寺に万正寺・平沢村組合立万正寺小学校開設
昭和 14 年 11 月	字堰上の現在地に新校舎完成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 466 人
昭和 16 年 4 月	睦合村立国民学校と称す
昭和 30 年 1 月	桑折町立睦合小学校と改称
昭和 35 年 3 月	体育館の改築
昭和 39 年 8 月	プール建設落成
昭和 49 年 9 月	創立 100 周年 校旗・校章・校歌制定
昭和 58 年 2 月	現在の校舎完成(1,825 m ²)
昭和 59 年 11 月	町教育委員会指定国語科学習指導法研究公開
昭和 63 年 11 月	町教育委員会指定特別活動(集会活動)研究公開
平成 3 年 1 月	「勉学の誉れ」基本・表彰規程設立
平成 4 年 11 月	小規模学校教育研究協議会会場校となる、学校田で収穫した米で収穫祭
平成 6 年 8 月	創立 120 周年式典挙行
平成 6 年 9 月	校舎裏山に遊歩道設置(PTA 奉仕作業)
平成 7 年 2 月	体育館改築(815 m ²)
平成 7 年 9 月	簡易駐車場完成(プール西側)
平成 8 年 1 月	県書写書道研究会伊達(桑折)大会研究公開
平成 9 年 7 月	校庭西根堰側防球ネット完成、睦合見守隊発足
平成 12 年 3 月	コンピューター12 台導入
平成 12 年 11 月	ソニー教育論文優良賞受賞
平成 15 年 10 月	県連 PTA 連合会長表彰
平成 17 年度	学力パートナーシップ事業研究指定校 [~19 年度]
平成 18 年度	うつくしま田んぼの学校事業指定校 [~20 年度]
平成 22 年 2 月	ふくしま議定書優秀校表彰、各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・校舎裏表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染 [~7 月]
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 26 年 5 月	創立 140 周年・現校歌制定 40 周年記念(運動会)
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 27 年 5 月	校内放送設備更新
平成 28 年 8 月	校庭南側汚染土撤去
平成 29 年 2 月	体力向上優秀校表彰(ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト)
令和元年 7 月	「夏休みの友」児童写真表紙掲載
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)
令和 5 年 4 月	複式学級の実施 (2・3 年生)
令和 6 年 10 月	創立 150 周年記念式典
令和 6 年 11 月	教室のエアコン設備更新

【半田醸芳小学校】

明治 6 年 4 月	泉田泉秀寺に 9 村連合小学校を開設
明治 22 年 4 月	谷地・北半田・南半田の 3 村合併 北半田小学校へ
昭和 22 年 4 月	六・三制施行により半田村立半田小学校と改称、校歌制定
昭和 25 年 4 月	児童数ピーク 721 人
昭和 30 年 1 月	桑折町立半田醸芳小学校と改称
昭和 48 年 7 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 49 年 11 月	学校給食優良校として文部大臣表彰
昭和 51 年 10 月	交通安全優良校として県表彰
昭和 63 年 1 月	新校舎建築のため講堂・プール跡地に校地を造成する
昭和 63 年 3 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
昭和 63 年 8 月	学校安全優良校として学校健康センター表彰
平成元年 3 月	現在の校舎完成(校舎 3,301 m ² ・体育館 972 m ²)
平成 2 年 5 月	新校舎落成式、プール完成(3 月)
平成 2 年 9 月	校舎周辺舗装、教材園・花壇・南側植栽完成、交通安全優良校として東北管区警察局表彰
平成 3 年 6 月	飼育舎完成
平成 4 年 6 月	校庭遊具整備
平成 8 年 5 月	マーチングバンド用ユニフォーム購入
平成 8 年 6 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
平成 10 年 4 月	緑の少年団結成
平成 11 年 3 月	コンピューター 21 台導入
平成 11 年 11 月	花いっぱいコンクールで最高賞(県知事賞)
平成 12 年 9 月	半田山に学校林設置
平成 15 年 5 月	「創立 130 周年記念大運動会」開催
平成 18 年 1 月	子ども見守り隊発足
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 10 月	体育館屋根修理
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去〔～7 月〕
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染〔～8 月〕
平成 25 年 4 月	校庭遊具塗装
平成 26 年 5 月	低鉄棒設置
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校〔～28 年度〕
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電池室設置
平成 28 年 8 月	校庭汚染土校外撤去並びに校庭周辺フェンス設置〔～9 月〕
平成 29 年 11 月	ふくしんこども応援賞最優秀賞受賞
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)
令和 5 年 11 月	創立 150 周年記念式典
令和 6 年 11 月	教室のエアコン設備更新

【伊達崎小学校】

明治 5 年 10 月	大林寺に小学校開設
明治 6 年 9 月	宮内に校舎新築移転
明治 26 年 6 月	伊達崎尋常小学校と改称
昭和 3 年 5 月	現在地に新校舎落成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 626 人
昭和 16 年 4 月	国民学校令公布 伊達崎村立国民学校と改称
昭和 30 年 1 月	桑折町立伊達崎小学校と改称
昭和 39 年 6 月	プール完成
昭和 40 年 10 月	県教委指定体育学習指導研究公開
昭和 47 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 51 年 8 月	現在の校舎完成(2,175 m ²)
昭和 52 年 1 月	校内放送機器設置、校内カラーテレビ放送開始
昭和 53 年 1 月	屋内体育館完成(670 m ²)
昭和 61 年 3 月	フィールドアスレチック施設設置
平成 4 年 10 月	統計教育文部大臣賞受賞
平成 5 年 4 月	校庭南側歩道及びフェンス設置
平成 8 年 3 月	校庭南側に桜苗木植栽・新型焼却炉設置
平成 9 年 2 月	マーチング・キーボード、ユニフォーム購入
平成 9 年 3 月	保健室・職員室にブラインド設置
平成 11 年 4 月	学校指導協力員制度始まる
平成 12 年 4 月	学校評議員制発足
平成 13 年 3 月	コンピューター13 台導入
平成 13 年 5 月	ビオトープ「どろんこパラダイス」完成、インターネット接続開始
平成 14 年 9 月	体験果樹園「桃の楽園」開園
平成 14 年 10 月	「創立 130 周年記念学習発表会」開催
平成 15 年 12 月	地域イントラネット事業により公共施設との接続開始
平成 17 年 3 月	校庭東側道路拡張
平成 17 年 7 月	ウサギ小屋完成、プール送水管修理
平成 17 年 11 月	校庭東側に植樹
平成 20 年 7 月	校舎耐震・大規模改修工事〔～21 年 12 月〕
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 6 月	校庭全面芝生化(うつくしまグリーンプロジェクト)
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール、・校舎内(ベランダ等)・体育館周り・遊具等の除染〔～6 月〕
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開協力校(授業提供・研究発表)
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校〔～28 年度〕
平成 26 年 10 月	校庭防球ネット設置
平成 27 年 6 月	校庭全面芝生化
平成 28 年 8 月	駐車場汚染土撤去及び整備
令和 2 年 3 月	特別支援学級(わかくさ)設置
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)
令和 4 年 3 月	福島県沖地震による校舎等施設災害復旧工事開始
令和 4 年 10 月	創立 150 周年記念事業(記念式典、記念誌、記念品)
令和 6 年 2 月	福島県沖地震による校舎等施設災害復旧工事完了
令和 6 年 11 月	教室のエアコン設備更新

【醸芳中学校】

昭和 22 年 4 月	桑折・睦合・半田・伊達崎に各新制中学校創立
昭和 28 年 7 月	字道下に新校舎・体育館落成
昭和 29 年 12 月	桑折・半田を統合、桑折町・半田村組合立醸芳中学校となる
昭和 30 年 8 月	校旗・校歌を制定
昭和 34 年 10 月	33・34 年度文部省指定産業教育(職業家庭)研究発表
昭和 35 年 11 月	創立 10 周年記念式典挙行
昭和 36 年 4 月	睦合・伊達崎を統合・校舎増築、桑折町立醸芳中学校となる
昭和 37 年 11 月	優良 PTA として県教育委員会表彰
昭和 38 年 8 月	プール完成(25m×15m・8 コース)
昭和 40 年 4 月	統合後の生徒数ピーク 1,140 人、特殊学級を開設
昭和 42 年 10 月	創立 20 周年記念式典挙行
昭和 43 年 1 月	完全給食開始
昭和 51 年 5 月	機械警備ガードマン制導入
昭和 52 年 11 月	TBC こども音楽コンクール東北大会吹奏楽最優秀賞
昭和 54 年 3 月	アンサンブル全国大会金賞(金管四重奏)
昭和 57 年 11 月	56・57 年度文部省指定生徒指導研究発表
昭和 58 年 7 月	県中学校総合体育大会バスケットボール優勝(男子)
平成 2 年 8 月	3 年教室および廊下の腰板修理
平成 3 年 7 月	新校舎建築着工(現在地)
平成 3 年 11 月	東北放送子ども音楽コンクール東北大会優秀校
平成 4 年 6 月	新校舎体育館建築着工
平成 5 年 2 月	新校舎・体育館完成(校舎 6,587 m ² ・体育館 1,752 m ² ・柔剣道場 561 m ²)
	現在地字柳下に校舎移転改築
平成 5 年 4 月	コンピューター設置
平成 5 年 12 月	校舎落成式(プール・テニスコート完成)
平成 6 年 11 月	陶芸室完成
平成 7 年 3 月	校舎・プール周辺の舗装完成
平成 8 年 1 月	平成 6・7 年度県教委指定書写指導研究発表
平成 9 年 5 月	創立 50 周年記念植樹・記念碑建立(同窓会)
平成 10 年 10 月	平成 9・10 年度文部省指定人権教育公開研究会
平成 10 年 12 月	コンピューター 42 台導入
平成 11 年 4 月	新制服制定(新入生よりエコ製品採用)、インターネット回線接続
平成 11 年 10 月	PTA 基金事業除幕式、オルゴール放送設備の設置、生活活動記録掲示板の設置、校歌歌碑移転
平成 13 年 3 月	屋外大時計設置
平成 13 年 8 月	東北中学校ソフトテニス大会第 3 位、全日本中学校ソフトテニス大会出場 2 回戦進出
平成 14 年 4 月	新教育目標設定、インターネット光ファイバー回線接続
平成 15 年 8 月	野球グラウンド内野全面改修
平成 18 年 10 月	中学校教育研究会県大会特別活動部会
平成 20 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会管楽合奏優秀賞
平成 21 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会最優秀賞サックス五重奏
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 6 月	グラウンド斜面・プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・玄関前・体育館・テニスコート周り等の除染 [～7 月]
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進拠点校
平成 25 年 11 月	平成 25 年度放射線教育推進支援事業実践協力校として授業公開

平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業拠点校〔～28 年度〕
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 29 年 1 月	テニスコート人工芝全面張替
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)
令和 6 年 11 月	教室のエアコン設備更新

3 歴代校長名簿

醸芳小学校				53	高野 孝男	H31~	15	金澤 武夫	S 8~	24	三浦 寛一	S 8~
1	梅津 清平	M 6~		54	遠藤 和宏	R 4~	16	小松 光治	S15~	25	近藤 景助	S14~
2	黒井小源太	M 9~		55	花輪 忠康	R 6~	17	上 田 盈	S16~	26	塩田 柘雄	S18~
3	堀 退 蔵	M10~		睦合小学校			18	高橋 廣記	S19~	27	安部 丑亥	S21~
4	保 山 清	M11~		1	石田 弼常	M32~	19	蔭山 亮心	S21~	28	鈴木 正孝	S22~
5	堀 退 蔵	M12~		2	鹿山 林造	M33~	20	西 恭 三	S27~	29	鈴木 正一	S24~
6	永井 道忠	M14~		3	佐藤 祐蔵	T10~	21	五十嵐秀夫	S34~	30	古川松太郎	S30~
7	阿部徳次郎	M15~		4	佐藤 勘六	S 1~	22	大 谷 香	S39~	31	内池 謙三	S36~
8	佐川 重善	M16~		5	横山 繁治	S 4~	23	古川 安之	S41~	32	黒羽 健三	S40~
9	若山 直章	M18~		6	伊 達 忠	S15~	24	黒羽 健三	S43~	33	安 斎 武	S43~
10	佐川 重善	M19~		7	上田 信蔵	S17~	25	泉 幸 一	S47~	34	菅 野 甫	S46~
11	斎藤 重太	M19~		8	豊島 桂一	S22~	26	熊坂 修一	S49~	35	鈴木 保男	S51~
12	門間 貞蔵	M20~		9	鈴木 正恵	S26~	27	穴戸 成男	S53~	36	八 島 完	S57~
13	加藤 隆瑞	M21~		10	氏家久仁夫	S34~	28	大杉 光夫	S56~	37	長 根 智	S62~
14	常 見 甫	M27~		11	大 谷 香	S36~	29	猪俣 好巳	S60~	38	大竹 英智	H 2~
15	加藤 隆瑞	M31~		12	古川 安之	S39~	30	高山 胤能	H 1~	39	戸井田 健	H 5~
16	天野 景明	M31~		13	山川 和二	S41~	31	小平 光雄	H 4~	40	松浦 常雄	H 7~
17	山崎 朋之	M33~		14	油井 悦治	S43~	32	佐藤 洋一	H 7~	41	小澤 富雄	H 9~
18	武川 教義	M36~		15	佐 藤 弘	S49~	33	石岡 恒憲	H 9~	42	角田 俊雄	H13~
19	加藤友之助	M39~		16	半 澤 正	S52~	34	飯 塚 哲	H11~	43	菱沼 一良	H17~
20	松井 秀英	M40~		17	鈴木 子郷	S54~	35	村上 幸男	H15~	44	高 橋 徹	H20~
21	今野甚三郎	T 2~		18	山本 昌行	S59~	36	佐藤 吉則	H18~	45	丹治 睦雄	H23.8~
22	岡山幸太郎	T 6~		19	長谷川壽子	S63~	37	山内 雄和	H21~	46	坂本 貴洋	H25~
23	大木喜代之進	T11~		20	熊耳 昭壽	H 3~	38	伊藤 好幸	H24~	47	宮内 憲司	H28~
24	船木善四郎	T12~		21	三浦 哲夫	H 5~	39	福士 久子	H27~	48	半澤 正保	H30~
25	仲村辰四郎	T15~		22	安倍 幸夫	H 8~	40	穴戸 広子	H29~	49	大 木 修	R 2~
26	前川 三省	S 5~		23	中川 源美	H10~	41	遠藤 和宏	R 2~	50	佐藤 浩哉	R 4~
27	草野 佳政	S 7~		24	渡邊 和夫	H12~	42	五十嵐洋之	R 4~	51	青柳 俊宏	R 6~
28	菅野 圓蔵	S 9~		25	大橋 芳光	H14~	43	丹 野 潔	R 6~	醸芳中学校		
29	三浦 寛一	S16~		26	我 彦 武	H17~	伊達崎小学校			1	高田哲太郎	S25~
30	紺野長四郎	S18~		27	菊 池 淳	H20~	1	穴 戸 遵	M 5~	2	岩谷 唯近	S29~
31	佐藤庄左衛門	S19~		28	菅野 敦子	H22~	2	西山 正躬	M 6~	3	遠 藤 力	S40~
32	遠 藤 經	S21~		29	五十嵐正彦	H25~	3	渥美 榮蔵	M11~	4	遠藤 伊雄	S46~
33	武 藤 昌	S30~		30	大 槻 誠	H28~	4	本多 定積	M12~	5	黒羽 健三	S48~
34	佐久間武善	S36~		31	旗野 宣久	H31~	5	小澤正太郎	M13~	6	萩原 盛良	S52~
35	五十嵐秀夫	S41~		32	岩井 智哉	R 3~	6	大鷹三之助	M13~	7	黒須 撰三	S54~
36	原 田 貞	S50~		33	齋藤 貴恵	R 5~	7	堀 捨次郎	M14~	8	大 友 寛	S57~
37	古山 直一	S53~		34	阿部 裕好	R 7~	8	室原 啓三	M15~	9	須永 英次	S60~
38	目 黒 衛	S56~		半田醸芳小学校			9	末永 敬明	M17~	10	大草 榮治	H 2~
39	佐 藤 弘	S59~		1	大波 廣吉	M22~	10	柚 原 勉	M18~	11	紺野 明男	H 5~
40	松田 源治	S60~		2	佐久間兼蔵	M24~	11	永井延次郎	M20~	12	田中 民二	H 7~
41	鴨田 喜夫	H 1~		3	菅野 忠夫	M29~	12	猪城徳二郎	M21~	13	菅野金四郎	H10~
42	永井 俊博	H 3~		4	志 賀 敏	M34~	13	石上三郎平	M22~	14	武田 正昭	H15~
43	大竹 英智	H 5~		5	愛澤辰次郎	M36~	14	長澤清太郎	M27~	15	湯田 健一	H17~
44	佐藤 榮壽	H 7~		6	藤本 春児	M38~	15	加藤 丈吉	M29~	16	鈴木喜三郎	H20~
45	矢葺 光政	H10~		7	三木常次郎	M42~	16	瀬谷市太郎	M34~	17	蓬田 吉穂	H25~
46	石岡 恒憲	H13~		8	佐藤子之松	T 1~	17	木幡 次郎	M40~	18	神 野 與	H27~
47	古宮 睦男	H17~		9	安藤 保蔵	T 4~	18	一條 七蔵	M42~	19	大 木 修	H29~
48	村上 幸男	H20~		10	宮崎喜三郎	T 6~	19	野 地 榮	T 3~	20	石 綿 厚	R 2~
49	高 橋 徹	H23.8~		11	井上鉄次郎	T 9~	20	仲村辰四郎	T 9~	21	菅野 重徳	R 5~
50	会田 智康	H25~		12	清信留之助	T11~	21	黒澤 眞明	T11~	22	佐久間光児	R 7~
51	伊藤 好幸	H27~		13	斎藤 芳夫	T12~	22	高玉 良助	T13~			
52	木村 政文	H29~		14	清野 一郎	S 2~	23	菅野 勝美	T15~			

4 中学校卒業生の進路状況

■令和6年度 釀芳中学校の進路状況

(令和7年5月1日現在)

学科の種類	学 科	県(国)立	私 立
普通教育を主とする学科	普 通 科	15	9
専門教育を主とする学科	農業に関する学科	8	0
	工業に関する学科	4	1
	商業に関する学科	12	0
	家庭(食物・福祉)に関する学科	0	1
	看護に関する学科	0	1
	情報に関する学科	4	0
	理数に関する学科	0	0
	美術に関する学科	0	3
	外国語に関する学科	0	0
	国際文化に関する学科	2	0
	文理に関する学科	5	3
	スポーツに関する学科	1	2
総合的に施す学科	総 合 学 科	7	0
計		58	20
合 計		78	

〈参考資料〉

課 程	県立高校				私立高校		国立	就職	その他	合計
	全日制	定時制	通信制	特別支援	全日制	通信制				
男	24	0	0	2	7	1	0	1	2	37
女	33	0	0	0	10	1	0	0	1	45
計	57	0	0	2	17	2	0	1	3	82

5 児童生徒数の推移と令和7年度児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

児童生徒数の推移



令和7年度児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	35	37	34	44	35	49	38	50	38
女子	33	52	33	38	42	46	40	43	32
計	68	89	67	82	77	95	78	93	70

6 児童生徒の体位

■平均値(令和7年5月)

※全国平均値は令和6年度

年 齢	区 分	身長 (cm)		体重 (kg)	
		男子	女子	男子	女子
6 歳 (小 1)	桑折町	116.7	114.6	22.1	20.2
	全 国	116.7	115.8	21.4	21.0
7 歳 (小 2)	桑折町	121.6	120.8	24.2	23.4
	全 国	122.6	121.8	24.2	23.7
8 歳 (小 3)	桑折町	127.4	127.9	28.3	26.5
	全 国	128.5	127.7	27.6	26.9
9 歳 (小 4)	桑折町	135.0	133.4	32.7	30.6
	全 国	134.0	134.1	31.2	30.5
10 歳 (小 5)	桑折町	139.6	139.5	38.1	33.3
	全 国	139.7	141.1	35.2	35.0
11 歳 (小 6)	桑折町	144.7	146.7	39.4	42.1
	全 国	146.0	147.8	39.6	40.1
12 歳 (中 1)	桑折町	156.5	152.2	47.9	44.5
	全 国	154.0	152.3	45.3	44.4
13 歳 (中 2)	桑折町	162.3	154.3	51.2	48.4
	全 国	161.1	155.0	50.5	47.5
14 歳 (中 3)	桑折町	166.3	156.0	56.6	48.9
	全 国	166.1	156.4	55.0	49.6

■児童生徒の身長・体重の推移（過去5年間）

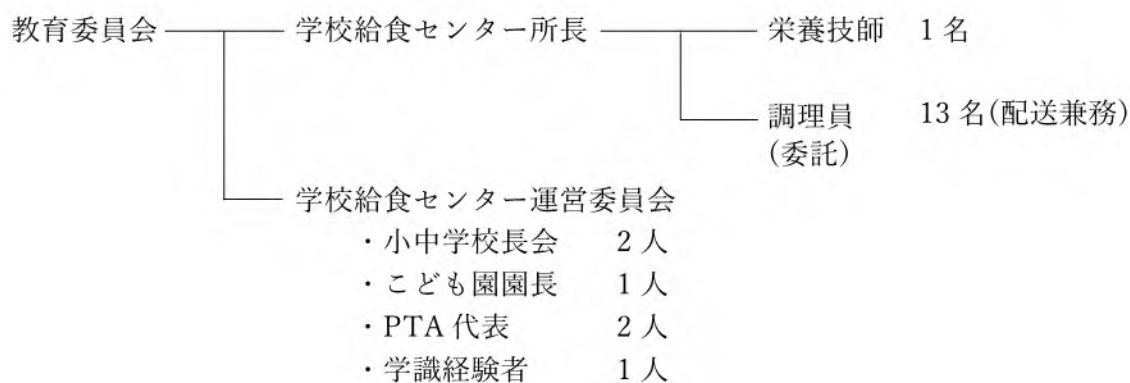
身長（単位：cm）			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
男子	小学校	1年	117.0	117.7	115.8	116.3	116.7
		2年	122.2	122.8	124.0	121.8	121.6
		3年	129.0	127.6	128.5	129.7	127.4
		4年	133.9	134.2	133.3	134.0	135.0
		5年	139.4	140.1	140.5	138.9	139.6
		6年	146.4	146.0	147.3	147.7	144.7
	中学校	1年	152.4	155.5	154.9	156.0	156.5
		2年	161.3	160.0	161.9	161.7	162.3
		3年	166.0	165.7	165.6	165.8	166.3
女子	小学校	1年	114.9	115.0	115.0	115.2	114.6
		2年	121.0	121.1	121.1	121.8	120.8
		3年	127.2	127.3	126.8	127.1	127.9
		4年	133.2	132.8	133.9	132.6	133.4
		5年	139.3	140.2	139.6	140.9	139.5
		6年	146.7	146.0	146.7	146.3	146.7
	中学校	1年	151.5	151.9	151.3	151.6	152.2
		2年	155.3	154.5	154.2	154.3	154.3
		3年	157.1	156.6	155.8	155.6	156.0

体重（単位：kg）			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
男子	小学校	1年	23.2	22.1	21.8	21.2	22.1
		2年	24.4	26.1	25.0	24.5	24.2
		3年	27.9	27.5	29.7	28.3	28.3
		4年	32.9	31.5	31.1	33.7	32.7
		5年	35.1	36.8	35.9	34.7	38.1
		6年	42.9	40.4	41.9	40.7	39.4
	中学校	1年	43.8	51.6	46.2	46.1	47.9
		2年	50.8	50.0	55.5	51.1	51.2
		3年	54.1	56.1	55.3	57.9	56.6
女子	小学校	1年	20.3	21.6	20.8	20.8	20.2
		2年	24.2	22.7	23.8	23.1	23.4
		3年	26.4	28.2	25.7	27.0	26.5
		4年	28.9	29.5	32.2	29.4	30.6
		5年	33.9	34.9	34.2	36.2	33.3
		6年	38.6	39.1	40.2	38.7	42.1
	中学校	1年	43.7	43.3	43.0	44.2	44.5
		2年	49.8	47.3	45.9	45.8	48.4
		3年	50.4	53.0	49.7	47.8	48.9

7 学校給食事業

(1) 学校給食センターの概要

- 名 称 桑折町学校給食センター
- 所 在 地 〒969-1661 桑折町大字上郡字堰下 45
- 電話・FAX 024-581-0250・024-581-0251
- 敷地面積 3,652 m²
- 建物構造 鉄骨造 一部 2 階建
- 延床面積 1040.70 m²
- 調理能力 1 日 2,000 食
- 運営組織



(2) 給食の状況

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

	幼稚園			小学校			中学校			合 計
学校数	1 園			4 校			1 校			6 校
給食人員	188 人			533 人			263 人			984 人
年間実施回数	185 回			180 回			185 回			・町内全小中学校幼稚園に提供 ・センター職員も喫食 ・給食費の保護者負担は幼稚園が H23 年度から全額無料、小中は H30 年度から半額、R5 年度から全額無料 ・麺は月 2 回で、麺のない週は米飯 4 回 ・米飯はセンター炊飯
給食費(1 食)	310 円			340 円			395 円			
給食費年額 (うち保護者負担)	57,350 円 (なし)			61,200 円 (なし)			73,075 円 (なし)			
主食の形態 (週当たり回数)	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	
	3.5	1	0.5	3.5	1	0.5	3.5	1	0.5	

(3) 学校給食センターの沿革

昭和 43 年	1 月	桑折町伊達町国見町三町の学校給食センター方式による小・中学校への完全給食開始
昭和 51 年	4 月	米飯給食を導入
平成 10 年	12 月	バイキング給食を導入
平成 12 年	8 月	桑折町学校給食センター(単町)による小中学校への給食開始 地元農産物導入
平成 13 年	4 月	アレルギー対応食導入
	6 月	セレクト給食導入
	12 月	テーブルマナー給食導入
平成 14 年	4 月	地元産米の導入
平成 23 年	4 月	幼稚園給食費保護者負担無料措置開始
平成 24 年	1 月	食品放射能濃度測定器設置(給食センター用 1 台) 学校給食及び食材等の放射性物質濃度測定開始
平成 25 年	6 月	食品放射能濃度測定器を桑折町役場桑島分庁舎へ移設
平成 26 年	4 月	学校給食調理・配送業務を民間委託
平成 30 年	4 月	小中学校給食費保護者負担半額措置開始
	10 月	塩分量削減の取り組み開始
令和 5 年	4 月	小中学校給食費保護者負担無料措置開始

(4) 施設の概要

① 給食センター本体

(単位：㎡)

階別	面 積	内 訳			
1	897.70	玄関・ホール	15.00	前室	34.58
		事務室	41.70	調理室	199.60
		トイレ	10.00	サラダ室	16.40
		検収室	31.20	洗浄室	199.40
		下処理室	35.28	厨芥処理室	8.00
		食品庫	12.63	コンテナ室	102.00
		冷凍庫	7.41	廊下	51.00
		米庫	16.00	倉庫	12.60
		炊飯室	72.00	機械室	32.90
2	143.00	会議室	32.00	洗濯室	12.00
		男子休憩室	26.00	トイレ	16.00
		女子休憩室	21.50	廊下	35.50
合計	1040.70	※床構造：ドライ方式			

② その他

・車庫：80.00 ㎡

・自転車置場：4.01 ㎡

生涯學習

1 生涯学習関係審議会・機関

【桑折町社会教育委員】条例により昭和 30 年設置

委員 12 名 任期 2 年（令和 7 年度～令和 8 年度）

氏 名	役 職
佐久間 光児	醸芳中学校長
花 輪 忠 康	醸芳小学校長
本 間 英 樹	町 P T A 連絡協議会会長
大 槻 純 子	町文化団体連絡協議会副会長
竹 中 綾 子	町スポーツ協会会長
緑 上 隆	学識経験者（教育職経験者）
渡 邊 美 昭	町社会福祉協議会副会長兼事務局長
松 浦 佳 子	地域学校協働活動サポーター
蓬 田 京 子	読み聞かせの会「コスモス」会員
山 木 一 芳	総合型地域スポーツクラブ会長
阿 部 公 嗣	「夢ほたる・こおり」事務局長
亀 岡 和 美	前地域学校協働活動推進員

【桑折町スポーツ推進委員】条例により昭和 34 年設置

委員 8 名 任期 2 年（令和 7 年度～令和 8 年度）

氏 名
金 野 麻 衣
渡 辺 重 子
塩 谷 靖 夫
関 根 美 幸
吾 妻 昭 宏
内 村 勝 男
赤 坂 達 郎
菅 野 智 子

【桑折町文化財保護審議会】条例により昭和 51 年設置

委員 9 名 任期 2 年（令和 6 年度～令和 7 年度）

氏 名	役 職
吉 田 良 典	観音寺住職
渋谷 浩 一	桑折町商工会長
笠 松 金 次	歴史研究家
青 柳 良 憲	桑折町文化財保存会長
半 澤 章	桑折町歴史案内人
佐 藤 伴 美	無能寺住職
佐 藤 耕 三	元福島県教育庁文化財課副課長

2 生涯学習関係団体

【桑折町青少年育成町民会議】昭和 57 年発足

会 長 高橋 宣博（町長）

副会長 和泉 真司、宮口 千晴、佐藤 久仁夫、渡邊 健児

【桑折町スポーツ協会】昭和 42 年発足

会 長 竹中 綾子

副会長 岡田 和人、塩谷 靖夫

加盟団体：15 団体

【桑折町スポーツ少年団】昭和 46 年発足

本 部 長 三村 隆二（中央公民館長）

副本部長 岡田 和人

加盟団体：6 種目

【市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 桑折町実行委員会】平成 2 年発足

委 員 長 竹中 綾子

副委員長 岡田 和人、塩谷 靖夫

【桑折町文化団体連絡協議会】昭和 50 年発足

会 長 浅野 隆良

副会長 大槻 純子、安彦 敦子

加盟団体：40 団体

3 生涯学習関係施設一覧

【公民館施設一覧】

区分	公 民 館 名	電 話	所 在
中央公民館	中 央 公 民 館 （イコーゼ！内）	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
	中 央 公 民 館 分 室 （遊学館「よも～よ」）	582-5388	〒969-1643 桑折町大字谷地字道下 6-1
地区館	桑 折 公 民 館 （桑折町民会館）	582-2564	〒969-1613 桑折町字桑島三 103
	睦 合 公 民 館 （睦合ふれあい会館）	582-2468	〒969-1652 桑折町大字成田字坊ノ内 19-1
	伊 達 崎 公 民 館	582-4313	〒969-1662 桑折町大字下郡字堂ノ前 11-1
	半 田 公 民 館 （半田コミュニティセンター）	582-3121	〒969-1641 桑折町大字南半田字八反田 10-1

【体育施設一覧】

区分	施設名	電話	所在
複合施設	屋内温水プール・多目的スタジオ	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
体育館	町民体育館		〒969-1661 桑折町大字上郡字林泉寺前 1-1
テニスコート	桑折テニスコート		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 25-1
運動場	町民運動場		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 1

【文化施設一覧】

施設名	電話	所在
桑折町旧伊達郡役所	582-5507	〒969-1617 桑折町字陣屋 12

【その他の施設】

施設名	所在
桑折町地域交流センター	〒969-1617 桑折町字桑島二 21-1

4 社会教育・スポーツ関係沿革

昭和22年	桑折・睦合・半田・伊達崎公民館条例を制定し、各公民館を設置。
昭和24年	社会教育法公布。桑折町公民館県表彰。
昭和25年	第1回成人式挙行。伊達崎公民館に保原高校季節別学級設置。
昭和27年	松原公民館新築。青年学級・婦人学級・成人学級開設。
昭和29年	半田公民館新築及び県表彰。
昭和30年	町村合併により桑折町桑折・睦合・半田・伊達崎公民館と改称、公民館条例制定。
昭和31年	桑折婦人学級開設（文部省委嘱）松原公民館県表彰。
昭和32年	旧桑折町役場庁舎に桑折公民館移転。
昭和33年	釀芳高校伊達崎分室設置。
昭和34年	桑折町公民館使用料条例を制定。
昭和36年	地区青年学級4学級を中央青年学級1学級とする。
昭和38年	桑折町公民館連絡協議会発足。第1回如月杯囲碁将棋大会開催。
昭和39年	各公民館に家庭教育学級開設。
昭和40年	各公民館の運営審議会を中央1本に統一。農村青年教室開設。
昭和41年	公民館機能を整備し、本館館長に教育長が就任。地区館長を兼務。 公館剣道場を桑折公民館に開設、第1回桑折町・国見町剣道大会開催。 第1回文化祭開催。農村建設班開設。
昭和42年	機構改革により公民館を統合し、桑折町公民館と改め、地区館を分館に、分館を部落館とする。 文化講座開設。桑折町体育協会発足。
昭和45年	青年学級3コース制（農業専修・社会教養・家庭）とする。 委嘱婦人学級県表彰。
昭和46年	桑折町スポーツ少年団本部設置。桑折町青年会発足。
昭和47年	福祉センター完成、桑折町公民館は入る。
昭和48年	町民運動場完成、町民運動場条例制定。第1回大字対抗350歳ソフトボール大会開催。
昭和49年	町民体育館完成、町民体育館条例制定。第1回ふるさとの遊び講習会及び大会開催。 第1回館長杯争奪バレーボール大会開催。
昭和50年	優良公民館として県教委表彰。企業内青年学級2学級開設。 幼児家庭教育学級開設。スポーツ振興審議会条例制定。 文化団体連絡協議会発足。
昭和51年	町民プール完成。町民プール条例制定。優良公民館として文部大臣表彰。 桑折町社会教育振興計画策定。 桑折町体育協会を組織替えし、桑折町スポーツ協会と名称を変更。
昭和52年	第1回町民運動会開催。
昭和53年	児童向け図書巡回貸し出し開始（睦合・半田）。第1回少年ソフトボール大会開催。高齢者学級を高齢者大学・大学院制に改める。桑折町スポーツ協会県教委表彰。
昭和54年	母と子の公民館活動（親子読書教室）開設。 第1回桑折町・国見町マラソン大会開催。
昭和55年	公民館剣道道場をスポーツ少年団に全面移管。 日独スポーツ少年団同時交流受け入れ。
昭和56年	ふるさと少年教室開設。高校生地域活動事業開設。婦人リーダー教室開設。桑折町青年団体連絡協議会発足。 桑折町公民館を改築、桑折町民会館として完成（桑折公民館併設）。
昭和57年	桑折町青少年育成町民会議発足。青少年育成地区懇談会開催（20ヶ所）。明日の親のための教室設。
昭和58年	桑折町スポーツ協会文部大臣表彰。婦人ボランティア学級開設。 日独スポーツ少年団同時交流を受け入れ（2度目）。

	学校開放事業「屋外運動場照明施設」伊達崎小学校に設置。
	下成田集会所に（昭和 53 年完成）睦合公民館が入る。
昭和 59 年	高齢者教育促進会議・高齢者ボランティア教室開設。町内一周駅伝競走大会開催。360 歳ソフトボール大会をスローピッチ 450 歳ソフトボール大会に改称。
昭和 60 年	桑折町合併 30 周年記念行事を開催。第 31 回全日本一般男子ソフトボール大会開催。青年ボランティアグループ「紙風船」県表彰。アジア地域スポーツ交流事業を実施（マレーシアと交流）。
昭和 61 年	中高年教育講座ナイスライフ教室開設。半田コミュニティセンター完成、半田公民館が入る。桑折勤労者体育センター完成。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 10 周年記念式典挙行。
昭和 62 年	桑折町スポーツ協会設立 20 周年記念式典挙行。
	日独スポーツ少年団同時交流受け入れ（3 度目）。
昭和 63 年	伊達崎公民館完成。少年リーダー（中学生）研修会開設。
	第 15 回東北総合体育大会（なぎなた競技）開催。
	第 41 回福島県総合体育大会ソフトボール（成年 2 部）開催。
平成 元年	第 16 回福島県ゲートボール大会開催。第 3 回全日本クラブ男子ソフトボール普及大会開催。国際理解を深める少年教室開設。
	桑折町スポーツ少年団日本スポーツ少年団表彰。
平成 2 年	桑折町民テニスコート・クラブハウス完成。伊達崎女性講座開設。
	第 2 回福島県縦断駅伝競走大会初出場。
	ふくしま国体桑折町準備委員会発足。
平成 3 年	L・A クラブ（青年学級）開設。半田コミュニティセンター・伊達崎公民館管理人を常駐にする。ふれあいコミュニティー広場完成。半田コミュニティセンター駐車場舗装工事施工。
平成 4 年	桑折町スポーツ協会を桑折町体育協会に名称変更。
平成 5 年	睦合テニスコート完成。第 50 回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催。第 1 回熟年女子バレーボール大会開催。
	ふれあい公園完成。町民運動場夜間照明設備完成。
平成 6 年	日本男子ソフトボールリーグ 2 部第 3 節桑折大会を開催（国体開始式リハーサル）。
平成 7 年	第 50 回国民体育大会ソフトボール競技成年 2 部を開催。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 20 周年記念式典挙行。
平成 8 年	町公民館条例を改正、本館の名称を中央公民館に改め、分館制度を廃止する。
平成 9 年	伊達崎公民館に自転車置場設置。
平成 11 年	睦合ふれあい会館完成、睦合公民館が入る。各地区公民館に館長（社会教育指導員）を設置。各地区公民館の管理運営等を統一。
平成 13 年	子ども情報誌を作成するための「伊達地区子どもセンター」設置。
平成 14 年	児童・生徒が休日を有意義に過ごすためにボランティア指導者による「こおり地域クラブ」を開設。
	「持ち込み講座」開設。ブックスタート事業実施。
	桑折町スポーツ少年団結成 30 周年記念式典挙行。
平成 15 年	事務機構改革により中央公民館に生涯学習課を設置。
	成人教室「町民カレッジ」を開設。家庭教育学級「親子教室」を開設。
	桑折勤労者体育センター条例改正、名称を桑折町民第 2 体育館とする。
平成 16 年	青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的・効果的に推進するために「桑折町体験活動・ボランティア活動支援センター」を中央公民館内に設置。コーディネーター 1 名を配置。
	「桑折町生涯学習推進基本計画」策定。
	中央公民館外装改修塗装工事施工。
	幼児用プール防水塗装改修工事施工。
平成 17 年	少年教室「こおりキッズスクール」を開設。
	町民プール防水工事施工。

	ふれあい公園整備工事施工。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 30 周年記念式典挙行。
平成 18 年	各地区公民館長（社会教育指導員）を各館 1 名、計 4 名体制から、2 館 1 名、計 2 名体制となる。 各公民館に夏休み学習室開設。
平成 19 年	睦合・半田・伊達崎公民館に休館日（毎週月曜日）を設ける。 成人教室「町民カレッジ」を「こおり友遊くらぶ」に改名。 中央公民館に図書学習室を新設。 公民館・体育館関係条例を改正し、使用料を見直す。
平成 20 年	第 20 回全国生涯学習フェスティバルが開催。桑折町も見本市に出展。
平成 21 年	学校支援地域本部事業に取り組む。
平成 22 年	総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」が設立する。 第 52 回全国社会教育研究大会福島大会に参加。 中央公民館及び町民体育館の耐震補強計画を策定。
平成 23 年	東日本大震災により桑折町は震度 6 弱の震度を観測。甚大な被害が発生した。町民体育館は危険により閉鎖、中央公民館大ホールはステージと天井に被害を受け閉鎖する。また、福島第一原子力発電所の事故の影響により、町民プールの開設を見送る。
平成 24 年	中央公民館は東日本大震災被害及びアスベスト材使用が確認され休館となる。その間桑折公民館へ事務所を移す。 町民体育館は修繕不能のため解体。
平成 25 年	図書機能充実のため、民間の遊休施設を借り上げて、中央公民館分館（遊学館「よも～よ」）を設置。 中央公民館や町民体育館が使用不能となったことで、町民の活動に支障を来していることから、他施設の一部利用者の使用料を当分の間免除扱いとなる。 中央公民館解体撤去。 種徳美術館再開。旧伊達郡役所保存修理事業完了。
平成 26 年	姉妹都市交流事業として、エリザベスタウン市への訪問団派遣を再開。 町民運動場バックネット裏屋根工事施工。 睦合公民館維持管理工事施工。
平成 27 年	桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」完成、同条例制定。 「桑折町生涯学習推進基本計画（第 2 次）」策定。
平成 28 年	「イコーゼ！」内に、屋内遊び場開設。 国道 4 号施設案内標識を掛け替え。
平成 29 年	「中央公民館長」を専任配置。 「ふれあい公園」内に、屋根付屋外ステージ「ピーチウィング」完成。
平成 30 年	桑折町体育協会設立 50 周年記念式典挙行、同記念誌発行。 桑折町体育協会の名称を「桑折町スポーツ協会」に変更。
平成 31 年	桑折町体育施設条例及び桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ条例の一部を改正し、使用料を見直す。
（令和元年）	「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。 「桑折西山城復元祭」を開催。
令和 2 年	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止・延期・縮小を余儀なくされる。 各地区公民館長を専任配置（桑折地区を除く）。 全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ 2020」を開催。 睦合テニスコート廃止。 福島県沖地震（R3.2.13）により、睦合公民館、町民体育館、旧伊達郡役所、種徳美術館が被災し、一時休館となる。
令和 3 年	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止・延期・縮小を余儀なくされる。 桑折町中央公民館に公民館運営推進員（2 名）を配置。

- 全国山城サミット桑折大会を開催。
- 福島県沖地震（R4.3.16）により、睦合公民館、町民体育館、旧伊達郡役所、種徳美術館が被災し、一部の施設で一時休館となる。
- 令和 4 年 桑折西山城まつり「城攻めウォーク」を開催。
旧伊達郡役所災害復旧・保存修理事業完了。
「二十歳の成人式」を挙行（「成人式」から名称を改名）
- 令和 5 年 新型コロナウイルス感染症が「五類感染症」に移行。
「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。
旧伊達郡役所開庁 140 周年記念事業を開催。
「桑折町文化記念館条例（昭和 56 年制定）」を廃止し、「桑折町旧伊達郡役所条例」を制定。
「桑折町生涯学習推進基本計画（第 3 次）」策定。
- 令和 6 年 旧種徳美術館解体。収蔵美術品等は桑島分庁舎へ一時保管。
五代友厚による銀山再興 150 周年記念事業「半田銀山シンポジウム」を開催。

資料編

これは、令和4年度から10年間のまちづくりについての計画「桑折町総合計画」との関連を図りながら策定した、今後10年間の桑折町教育計画の概要です。本計画の柱となるのが、**教育理念・めざす子ども像**と、それを実現するための**基本的な視点**をまとめた「桑折町の15歳のめざす姿」です。さらに、それぞれの基本的な視点に基づいて**具体的な施策**を計画し、実施していきます。

教育理念・めざす子ども像（その1） 「人間としての基本」とは、知・徳・体の基礎（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）であり、「人間としての強み」とは、豊かな感性・主体性・思考力・創造力です。これを育成することが教育の普遍的使命であり、時代を超えても変わらない教育の「不易（ふえき）」です。

教育理念・めざす子ども像（その2）

「たくましく未来を切り拓いていく」ためには、変化の激しいこれからの社会に必要とされる力を身に付け発揮することが求められます。これを育成することが未来を見据える教育を行うことであり、時代によって変わっていく教育の「流行」です。

桑折町の15歳のめざす姿

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、**教育理念**
たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子

教育理念・めざす子ども像（その3）

「桑折っ子」は、郷土への理解と愛情、地域や社会に貢献する志を持った子どものことです。これを育成することが地域に根ざした教育、桑折ならではの教育を行うことです。

具体的な施策

- ◆ 脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、家読奨励、桑折学習塾
- ◆ 「早寝・早起き・朝ごはん」町民運動の推進、給食を活用した食育、運動身体づくりプログラム、運動継続の一校（園）一実践、地域スポーツとの連携
- ◆ 不登校・いじめ対策、規律・礼節の重視、体験活動・平和学習・キャリア教育の充実、ふるさと教育（西山城見学など）の拡充

- ◆ 学校施設・設備について、長期的な維持・管理・整備計画の作成
- ◆ 給食センター施設・設備の計画的な維持・管理・整備、今後の管理・運営のあり方の検討

- ◆ 英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施
- ◆ 1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、家庭でもつながら通信環境を活用するオンライン授業や家庭学習、ICT支援員配置・活用と教職員研修、ICT教育環境の整備と充実
- ◆ 防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育

- ◆ 特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の確立
- ◆ 不登校が起きない学級・学校づくり、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、教育支援センター等による教育機会確保と学校復帰支援

- ◆ 保育改善・充実に向けた研修会や視察の拡充
- ◆ 保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育・授業研究会、幼児・児童・生徒の交流活動

- ◆ 学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析、小学校統合についての様々な観点からの検討
- ◆ 小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入などの検討、学校における働き方改革の推進

- ◆ 保育所や預かり保育の「待機児童ゼロ」を堅持していくための受け入れ体制の整備
- ◆ 給食費助成・制服贈呈・就学援助・奨学資金貸与・病児病後児保育利用料助成
- ◆ 参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援、情報提供や相談体制整備、子育て支援施策についての情報発信の強化

めざす子ども像

実化の激しいこれからの社会に必要とされる力を身に付けた子ども
郷土への理解と愛情、地域や社会に貢献する志を持った子ども

社会の変化に対応しつつ、その様々な課題の解決に資する教育
～未来を見据える～

町内教育関係者の連携と一貫性ある教育、手厚い子育て支援、小中学校のよりよいあり方の追求
～桑折ならではの教育を実現する～

基本的な視点

令和7年度 醸芳幼稚園 園経営・運営ビジョン

【目指す園像】

～笑顔と歓声あふれる幼稚園～

- ◆園児が安心して遊び、活動することができる園
- ◆夢中になって遊べる環境を工夫し、一人一人の輝きを引き出す園
- ◆保護者や地域との連携を大切にし、豊かな経験ができる園

【目指す教師像】

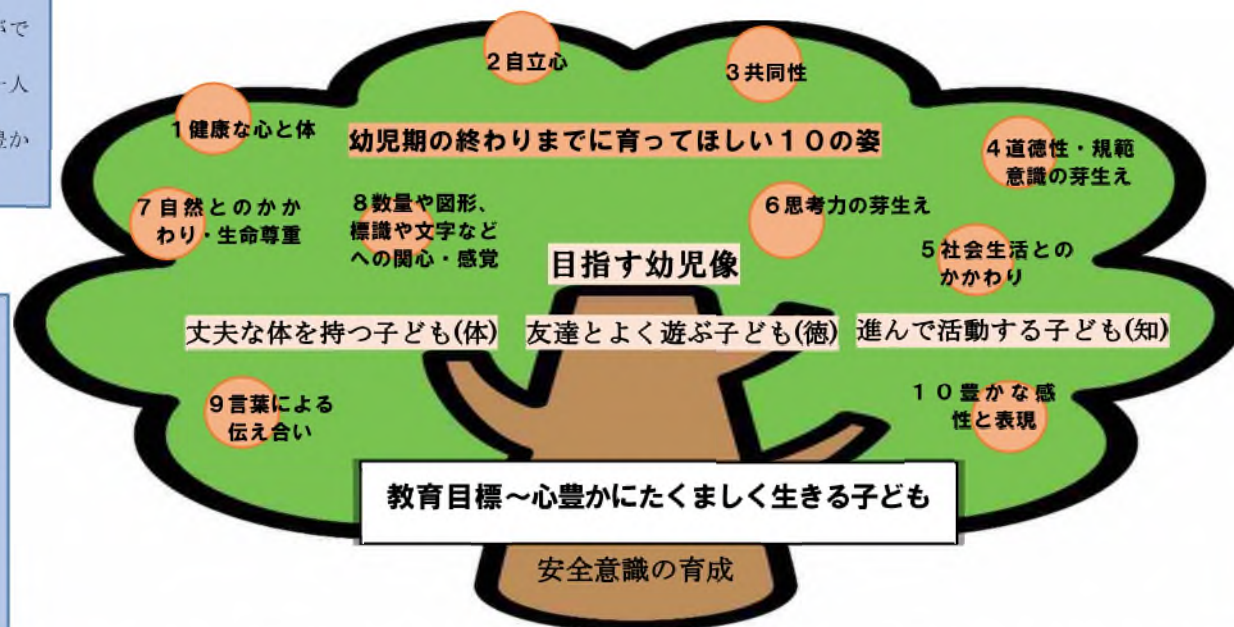
- ◆健康で明るく人間性豊かな教師
- ◆教育目標を達成するために同僚性をもち組織の一員として役割を果たそうとする教師
- ◆幼児一人一人の良さや可能性を見だし引き出していく教師
- ◆主体的に研修や自己研鑽に励み、専門性を高めようとする教師
- ◆園を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む教師

【幼児の実態】

- ◆自分のやりたいことに取り組み、繰り返す中で面白さや楽しさに気付く、試行錯誤しながら遊ぶ姿が見られる。
- ◆遊びや生活の場面で自分の思いを言葉で伝えたり相手の話を聞いたりしている。
- ◆友達や教師と一緒に体を動かすことを喜び、自分なりの目標に向かって、繰り返し取り組んでいる。
- ◆絵本やお話を好む幼児が多い。
- ◆生活に必要なことを自分から行っている。

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的な生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成



【5領域】 ◆健康(運動・基本的な生活習慣・安全) ◆人間関係(教師・友達・地域の人々・親) ◆表現(感性・閃き・創造性) ◆環境(自然・物・施設・動植物) ◆言葉(聞く・話す・絵本)

【特別支援教育の充実】 特別支援コーディネーターを中心とした実効的な支援体制 個別的教育支援計画・個別の指導計画の活用

育みたい能力・資質 3 本柱

知識・技能の基礎

遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか

思考力・判断力・表現力等の基礎

遊びや生活の中で気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり試したり、工夫したり、表現したりするか

遊びを通しての
総合的な指導

【幼稚園の基本】

- ◆幼児の主体的な活動と幼児期にふさわしい生活の展開
- ◆遊びを通しての指導を中心とし、ねらいを総合的に達成
- ◆幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、いかに
よりよい生活を営むか

【重点実践事項】

- ① 主体的に学ぶ力の育成
- ② 健康な心と体の育成
- ③ 特別支援教育の充実
- ④ 英語に親しむ活動の充実

【その他の事項】

- ① 「安心で安全な環境づくり」の推進
- ② 振り返りによる実践的指導力の向上と幼児理解に基づく評価の実施
- ③ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進

【家庭との連携】

- ◆園便り ◆園生活の様子
- ◆家庭訪問・学級懇談・個別懇談 降園時の連絡等
- ◆PTA活動
- ◆ファミリーティーチャー活動
- ◆規則正しい生活環境づくりの推進 (生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
- ◆幼児教育への理解促進 (家庭教育学級の実施・ホームページの充実)
- ◆連携した感染症対策の実施

【こ・小・中との連携】

- ◆異年齢交流 (幼小、幼小、幼中)
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ
- ◆架け橋プログラムへの取り組み

【地域との連携】

- ◆地域の人や施設とのかかわり
 - サロン：サロンや緑風園との交流会
 - 体験活動：地域学校協同活動本部の活用



令和7年度 学校経営・運営ビジョン



桑折町立釀芳小学校

学校経営の基本方針

- ① 一人一人のよさを生かし、生き生きと輝く活気に満ちた学校づくりを推進
【ほめて伸ばす教育の推進】
- ② 授業の質的改善を図り、全ての子どもに「わかる、できる授業」を実践し、確かな学力を育成
【興味と意欲を高める授業】
- ③ 体験的な活動や縦割り班活動等の集団活動を充実し、豊かな心とたくましさを育成
【協働・共有・共感した学び合い】
- ④ 体力向上と健康づくりを推進し、心身共に健康な体を育成
- ⑤ 家庭や地域との連携を深め、地域とともに教育活動を推進
- ⑥ 教育専門職として、高い倫理観と向上心をもった職務の遂行
- ⑦ 生徒指導の充実と学校事故防止を図るため、創意工夫と組織的対応

教育目標

よく考えて学ぶ子ども (知)
親切で思いやりのある子ども (徳)
健康で明るい子ども (体)

釀芳小学校の合言葉

こつこつ とことん あきらめない (継続、徹底、根気)
自分の目標に向かって努力、挑戦することの大切さを児童に教えていく。これは伝統として受け継がれてきた「釀芳」の根本精神でもある。

桑折町の15歳のめざす姿

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り開いていく桑折っ子

目指す学校像

- ・子どもたちの明るい笑顔が輝く学校
- ・子どもたち一人一人の特性を大切にす学校
- ・安全・安心にのびのびと学べる学校



目指す教職員像

- ・子どものよさを伸ばし、チームで対応する教職員 【チーム釀芳】
- ・倫理観が高く、専門性、資質の向上に努力する教職員
- ・児童・保護者・地域・同僚から信頼される教職員

資質能力

知識及び技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性等

よく考えて学ぶ子ども (知)

- 話を最後まで聞き、自分の考えを相手に分かりやすく話すことができる。
- 情報を調べたり友達と考えと比べたりしながら自分の考えを深め、相手に分かりやすく伝えることができる。
- 課題に向かって粘り強く取り組み、自分のよさを生かしながら協働的に学び合おうとしている。

親切で思いやりのある子ども (徳)

- 相手を思いやり、人との関わりを大切に言動ができる。
- 相手の気持ちを考え、正しく行動することができる。
- 相手を思いやり、進んで人との関わりをもとうとしている。

健康で明るい子ども (体)

- 健康や安全に気を付け、規則正しい生活習慣や運動の技能を身に付けることができる。
- 健康・安全について自分の課題を見付け、解決方法を考えることができる。
- 健康や安全を考え、進んで運動に取り組み、規則正しい生活習慣を身に付けてようとしている。

具体的重点事項

1 基礎・基本の定着と確かな学力の育成

- ◎個に応じた多様な指導方法とまとめの時間の充実 【現職教育】
- タブレットや電子黒板の効果的な活用 【情報教育】

2 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり

- ◎探究的学習による思考力・判断力・表現力等の育成 【現職教育・学力向上】
- 聞く力・話す力の育成 【授業・日常生活】

3 読書活動の推進

- ◎様々な教科での図書館の機能を生かした学習の位置づけ 【各教科・図書館教育】
- 「家読」の推進と図書館の積極的活動 【図書館教育】

1 人間関係形成能力の向上

- ◎互いのよさを理解し合い、自己肯定感を高める学級経営 【教育調査・教育相談】
- 人間関係形成能力を伸ばす活動の充実 【児童会、学校行事・生徒指導】

2 豊かな体験活動を生かした教育活動

- ◎生活科・総合的な学習の時間の充実 【生活科・総合的な学習の時間】
- 地域人材や地域素材の活用 【地域連携・キャリア教育】

3 道德教育、特別支援教育の充実

- ◎自己を見つめ、考える道德科の授業 【道德科】
- (低) 親切・思いやり、善悪の判断、自律、自由と責任
- (中・高) 親切・思いやり、公正、公平、社会正義
- 個に応じた指導の充実 【特別支援教育】

1 運動指導の充実と運動の日常化

- ◎運動身体づくりプログラムの継続 【体育科】
- 学習カードを活用した目標設定と成果の「見える」化 【体育科・体育的行事・はやぶさタイム】

2 基本的生活習慣の確立と食育の推進

- ◎家庭・関係機関と連携した「早寝早起き朝ご飯」の推進と生活習慣づくり 【学級活動・健康教育・給食指導】
- メディアコントロールの推進 【情報教育】

3 安全に対する意識や主体的な行動力の育成

- ◎自然災害など緊急時の行動力を身に付ける安全教育の実施 【交通安全・避難訓練・防犯教室】
- 危機管理マニュアルの周知と引き渡し訓練の実施 【安全教育】

特色ある教育

○集中反復学習 (音読・漢字・計算)

○体験・交流 (幼小・花壇・果樹・産業・福祉・歴史)

○スポーツ人材活用 (水泳・陸上・ラグビー)

家庭との連携

○「家読」運動 ○個別懇談・教育相談 ○生活習慣の改善 (早寝早起き朝ご飯、メディアコントロール、肥満解消、う歯治療) ○情報発信 (HP、学校通信) ○学校評価



睦み合いの心

教育目標

学び合い 睦み合い
元気でねばり強い むつみっ子

めざす子ども像

学び合う子ども

確かな学力の定着

望ましい学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組むことができる。

- 1「主体的、対話的で深い学び」を目指す授業を実践します。**
○思考力・判断力・表現力を高め「わかった・できた」を実感できる授業実践
○複式教育の工夫
○学び方の定着（ファシリテーターの育成）
2自ら学びを進める学習習慣を育成します。
○徹底反復の推進
○家庭と連携した家庭学習の推進（家庭学習スタンダードの活用）
○自主学習の工夫（自主学習のガイダンスとR-PDCAの意識化）
○タブレットの有効活用
3読書習慣を育成します。
○学校図書館の環境整備（調べ学習・並行読書など）
○読書活動の充実（図書ボランティア・読み聞かせ・家読）

睦み合う子ども

豊かな人間関係づくり

自他を大切にできる心を持ち、快くすすんで協力できる。

- 1望ましい人間関係を育成します。**
○互いの良さを認め合う活動の推進
○基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成（「むつみっ子の一日」、毎月のめあて）
○縦割活動、異学年交流活動の充実
2人権を尊重する豊かな心を育成します。
○道徳的判断を促す「道徳科」の授業の充実
○教育相談体制の充実（QUTテスト、いじめアンケート、教育相談、学び方教室、SC・SSWとの連携）
○人権課題を意識した指導（人権教育）
人権課題：LGBT、インターネット、いじめ、震災等による人権侵害
3豊かな社会性を育成します。
○体験活動の充実（自然文化体験、出張講座、ふるさと学習、キャリア教育）

元気でねばり強い子ども

健やかな心と体の育成

基本的生活習慣を身に付けて、目標に向かい努力することができる

- 1基本的生活習慣を育成します。**
○心身の健康を保つ生活習慣の育成（早寝・早起き・朝ごはん）
○食育の推進（栄養のバランスのとれた食事、栄養素と体の成長等）
2体力の向上を図ります。
○学習カードの活用による継続的な運動への取組と運動習慣の定着
○運動身体づくりプログラムの実践による体力の向上
3健康・安全教育の充実を図ります。
○専門家による各種安全教育の実施（生活安全、交通安全、災害安全）
○放射線教育の充実
○感染防止対策の徹底

社会に開かれた教育課程の実現

家庭との連携

- ICT教育の一層の推進（町連P連携）
- 「家読（うちどく）」の推進
- 積極的な情報発信（学年だよりや学校HPの活用）

地域との連携

- ゲストティチャーの活用
- 幼稚園や町内各学校等との連携
- 学校評議員会（年2回開催）
- 地域行事への参加奨励
- 地域素材の教材

教育活動の基盤整備・多忙化解消

- GIGAスクール構想への対応
- 校務分掌資料のデータ化（校務のICT化）
- チーム睦合の体制強化

新しい生活様式を意識した教育
制約がある中でも最大限の教育効果

学校の経営方針

- 1 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
- 3 少人数の良さを生かした学習指導・生徒指導
- 4 人権意識を高め「いじめ見逃し0」を目指す
- 5 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 6 読書指導の充実
- 7 指導力を培う校内研究・研修充実
- 8 社会に開かれた教育課程の実現

目指す教職員像：小規模校（複式学級）のメリットを生かす3ワーク

- チームワーク：全職員の良さを生かす意識
- フットワーク：役割を果たし、互いの業務の隙間を埋める意識
- ネットワーク：保護者・地域・関係機関との良好な関係を築く意識

第7次福島総合教育計画

目指すべき姿

「個人と社会のWell-being（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現」
桑折町教育振興基本計画（2022～2031）
教育委員会重点事項
「桑折町の15歳のめざす姿」

保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせたい。
- 自分から学習に取り組んで欲しい。
- 基本的生活習慣を身に付けさせたい。
- 健康で強い心と体を育てたい。

重点課題

実践事項

特別支援教育の充実

- 個に応じた支援
- OSC、SSW等との連携
- 通級指導教室との連携

＜目指す学校像＞

- ・夢や目標をもって、自己実現を図ることができる学校（児童）
- ・子ども一人一人を大切にできる学校（教師）
- ・安心・安全で信頼できる学校（保護者・地域）



＜目指す児童像＞

- ・自ら考え、共に学び合い、高め合う子ども（知）
- ・相手の身になって考え行動できる、優しさと強さをもつ子供（徳）
- ・健康な心と体づくりを意識し、主体的に実践できる子供（体）

＜教育目標＞

考える子（夢いっぱい・知）
思いやりのある子（笑顔いっぱい・徳）
たくましい子（元気いっぱい・体）

＜今年度のスローガン＞

「あきらめずに たのしく まえむきに」

よりよい自分を目指して「前向きな意欲」「諦めない強い心」「工夫する力」をもたせるため、年間を通して「主体性」「粘り強さ」「向上心」「創意工夫」に重点を置いて実践する。

＜第7次 福島県総合教育計画 福島県で育成したい人間像＞

- ・急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

＜桑折町の15歳のめざす姿＞

- ・人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子



＜学校経営の基本理念＞ 「半田プライド」を胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち、地域とともに学ぶ「半田っ子」の育成

確かな学力の向上（考える子）

【重点】論理的に考え、よりよく表現できる。

1 確かな学力の定着をめざす学習指導の充実

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業の充実
- ・適切な見取りと個に応じた指導の充実
- ・読み書き計算集中反復の充実（「チャレンジタイム」）
- 「思考力・判断力・表現力」の向上
- ・目的を明確にした話し合い活動の工夫（根拠を明確にして話す、意図を考え）
- ・ふくしまの「授業スタンダード」による探究型学習の充実と「活用力育成シート」の活用
- ・考えを共有し、思考を深めるICT（タブレット）機器の活用
- 振り返りの時間の充実
- ・子どもの思考を揺さぶる課題設定の工夫
- ・自己の高まりを実感し、次時へつなげるまとめ～適用や応用～振り返り

2 特別支援教育の充実

- 児童理解に基づいた合理的配慮、個別の指導計画を生かした指導
- 校内支援体制の整備、通級指導教室や関係機関との連携

3 読書活動の推進

- 読書時間（読書タイム）の確保と図書館司書等との連携
- 「家読の日」（毎月23日）を中心とした家庭における読書活動の充実

4 家庭学習の習慣化と自己マネジメント力の向上

- 「家庭学習スタンダード」「半田醸芳小 家庭学習の仕方」の活用
- 自学ノートの展示・掲示等による学習方法・内容への理解促進
- 家庭との連携（「家庭学習カード」等の活用、学級だより等による情報発信）

評価・チェック項目

□全国学調 □ふくしま学調 □NRT検査 □単元テスト
□百マス計算 □漢字合格率 □自学ノート □評価アンケート 等

豊かな人間性の育成（思いやりのある子）

【重点】互いを認め合い、ともに高め合うことができる。

1 道徳科・特別活動を核とした道徳教育の充実

- 考え、議論する道徳科授業の実践
- 体験的・問題解決的な活動における道徳実践の充実（評価と見取り）

2 よさを生かし、互いを認め合う集団活動の充実

- 自己肯定感を高め、よさを伸ばす学級経営
- ・一人一人が自己存在感を感じることができる働きかけ
- ・積極的な生徒指導の推進（教育相談、心のアンケート、生活アンケート、Q-Uテスト）
- いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応
- ・日常的なコミュニケーション、各種アンケート調査による見取り、家庭や関係機関との連携
- キャリア教育の視点を活かした特別活動・体験活動の推進
- ・係活動、委員会活動、児童会活動、ふるさと学、各出前授業との関連等
- 人間関係形成力を高める、自立した生活習慣作り
- ・言葉遣い、二言挨拶、返事、言葉かけ、ゲーム機器等の使用
- 発達段階と学年の実態に応じた情報モラル教育の充実
- ・情報機器を取り扱う際に起こりうるトラブルについて、未然防止と正しい利用の推進
- 学級や縦割り班活動による集団活動の充実
- ・「ふれあいタイム」「わんぱくタイム」での活動、無言清掃

3 人権教育の推進

- 教育活動全体を通じた人権教育の推進
- ・外国の異文化、平和、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等に対する理解
- ・人権が尊重される環境づくり（安心して過ごせる学校・学級）

4 環境教育の充実

- SDGsと関連させた指導の充実（生活科・社会科・総合的な学習の時間等）
- 地域を生かした自然体験活動の充実（緑の少年団、森林環境学習等）

評価・チェック項目

□心のアンケート □生活アンケート □Q-Uテスト □いじめ認知数
□いじめ解消数 □不登校児童数 □評価アンケート 等

体力向上と健やかな心身の育成（たくましい子）

【重点】健康な生活へのめあてをもち、進んで取り組むことができる。

1 教科体育の充実と運動の日常化

- 体力の実態に応じた「1学級1実践」の継続した取組
- 体育科授業の充実
- ・体力の実態に応じた指導計画、単元計画による指導の充実（運動量の確保）
- ・運動身体づくりプログラムの自校化と継続実施
- 朝マラソン、朝ダッシュ、なわとび等の取組と各種校内記録会の実施
- ・業間運動等、継続的な場や一斉的な場の設定、取組の可視化と称賛
- 多様な遊びや運動の推奨と日常化（クロスカントリーコース・遊具・一輪車・竹馬等）

2 保健健康指導の充実

- 基本的生活習慣の確立（規則正しい生活、「早寝・早起き・朝ご飯」）
- メディアコントロールの推進（自己マネジメント力の向上）
- ・「夜8時以降はノーメディア」のさらなる意識化及び見取りと評価
- 学校課題に応じた指導の充実（出前授業・歯の衛生指導・肥満指導等）
- 継続的な感染症予防指導（家庭と連携した取組）

3 食育の充実

- 栄養教諭等と連携した食育授業の推進
- 給食の時間を利用した食生活（栄養バランス・マナー等）の指導

4 防災教育・安全教育の推進

- 系統的、継続的指導による安全に対する意識の高揚と主体的態度の育成
- 具体的な場面を想定した危険予知・回避能力の育成（交通教室・避難訓練）
- 緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（家庭・地域・関係機関との連携・引き渡し訓練）

評価・チェック項目

□体力テスト □水泳・持久走・なわとび記録会 □運動カード
□肥満率 □歯垢・治療率 □朝食摂取率 □評価アンケート 等

特色ある教育活動・開かれた学校づくり 「半田ならではの」

- 「ふるさと学」の推進と地域の教育資源の活用
- ・さつまいも・たくわん・米作り、半田銀山祇園ばやし、ホタル学習、西山城・半田銀山の歴史学習
- 人とのかわわりを大切に交流活動（異学年、他校、高齢者、地域）
- 学校、学年、保健、食育、生徒指導等各種おたよりの計画的な発行
- HPによる保護者や地域へのタイムリーな情報発信
- 学校評価を生かした、反省・改善の変容が見える教育実践
- 緊急連絡メール配信システムの有効活用



教職員の専門的な資質・能力の向上 「チーム半田」

- 全職員が目的意識と研修意欲をもった職務遂行と学校運営への積極的参画
- 教職員人事評価を中心に据えた教職員の意識改革と教師力の向上
- 現職教育を中心とした自己研鑽と校内研修の充実
- ・外部講師の活用 ・実効性のある授業研究会の推進（互見授業の充実）
- 不祥事絶無をめざす高い倫理観と法令遵守の意識高揚
- ・服務倫理委員会の充実と不祥事ゼロ
- 教職員同士の信頼感やセーフティネットの役割の構築
- 働き方改革を意識した業務改善により、子どもと向き合う時間の確保



令和7年度 桑折町立伊達崎小学校 学校経営・運営ビジョン

【子どもの実態】

- 素直で仲良く上級生と下級生がみんなで協力して活動すること
- 決められたことや与えられた仕事に一生懸命に取り組むこと
- 目標を高くもって友だちと高め合い、進んで行動すること
- 時と場に応じて自分で判断し、最後まであきらめずに活動すること

【学校アンケートから見える課題】

- 読書の習慣化を図り読書活動を充実させること
- 健康的な生活習慣・家庭学習の習慣を身につけさせること

【教育目標】



よく考え、本気で学習する子ども
心豊かな礼儀正しい子ども
明るく元気にやりとげる子ども

【桑折町15歳のめざす姿】

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、
たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子

【めざす子ども像】自ら考え行動し、粘り強く努力する子ども

【めざす学校像】自ら考え行動する児童、粘り強く努力する児童が認められる学校

【教育活動のコンセプト】発達段階に応じて、授業や行事などにおいてねらいや意義をとらえさせて意欲を喚起し、考える場と実践する場、認められる場を設定する。



令和7年度のスローガン
なりたい自分へ 笑顔でチャレンジ

	よく考え、本気で学習する子ども(知)	心豊かな礼儀正しい子ども(徳)	明るく元気にやりとげる子ども(体)
重点	集中した学習 質の高い授業(学力向上 授業改善)	心豊かな人間への歩み(道徳 読書 体験 礼儀)	自律した生活 やり遂げる強さ(健康増進 体力向上 安全安心)
具体的実践事項	□ 基礎学力向上 ・「読み・書き・計算(週3回以上)徹底反復」実施 ・まとめ・振り返りの充実による基礎基本の定着 □ 授業改善 ・現職教育を中心とした授業研究の実施 ・「学びのスタンダード」「桑折町教育振興基本計画」の具体的施策を基にした授業改善 ・児童の実態把握、分析と実態に応じた教材作成 □ 個に応じた学習支援 ・個々の学力の分析と個別指導・支援の工夫 □ 家庭学習の充実 ・「家庭学習の手引き」による自己マネジメント力の向上の推進 ・自主学習ノート活用(推進とノート展の実施)	□ 「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実 ・「特別の教科道徳」の趣旨に沿った授業実践 ・授業参観等における「特別の教科道徳」の授業公開 □ 豊かな体験活動の推進 ・体験活動を通じた道徳性の育成(特別活動や授業における異学年交流、縦割り班活動によるふれあいの時間の効果的な運用) ・地域の方々との交流や地域素材を生かした多様な体験活動の充実 □ 読書活動の推進 ・読書活動(週3回程度)と「家読」(毎月23日)による読書の推進 ・図書室の充実と読書指導の推進 ・一行感想文の実施 □ 生徒指導の充実 ・時と場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができる児童の育成 ・望ましい生活態度の育成	□ 運動時間の確保 ・運動身体づくりプログラムの徹底と工夫 ・校庭、体育館での遊びの奨励、「あぶくまマラソン」「なわとび」の実施 ・縦割り班活動による体を動かす楽しいゲーム実施 □ 健康的な生活習慣の啓発 ・生活習慣の改善や見直しと健康教育(食生活・歯磨き等)の充実 ・情報モラルの充実とスクリーンタイムの制限 □ 感染症予防の対策 ・基本的な対策の継続 ・町・地域・学校医・保護者との連携 □ 防犯・防災教室の充実 ・関係機関の協力による安全教育の充実、防災訓練の実施 ・災害対応に関する具体的な知識(地震・火災、水害対応)
検証	□ 徹底反復学習合格者割合・各種学力検査県平均以上 □ 学校評価項目 わかりやすい授業(教員全員の授業研究の実施) □ アンダーアチーバーへの個別指導	□ 学年ごとの目標冊数の読破(最低月1冊) □ 学校評価項目 あいさつ □ いじめ見逃し・不登校 0	□ 自己ベストの更新(あぶくまマラソン・なわとび) □ 体力テスト 県平均以上 □ 感染症 未然防止対策

開かれたしなやかな学校(連携)

□ PTA活動の安定した運営 ・会議及び行事等の開催方法の工夫 ・PTA活動の円滑な実施 ・SDGsに関わる活動(資源回収等)の推進	□ 地域の関係機関、人材との連携強化 ・交通事故防止、安全安心な登下校のための情報共有や連携の強化 ・地域人材のコーディネートを生かした学習等の充実	□ 桑折町各教育機関との連携強化 ・桑折町教育委員会の施策と方針の理解 ・各学校との情報交換を密にして、共同歩調をとることと学校独自の取組について判断して実践する。	□ 情報発信のツールの活用 ・学年だよりやホームページによる情報発信 ・安心メールの効果的な活用(保護者との連携協力)
---	--	--	---

伊達崎小学校教職員としての心構え

【子どもを支え伸ばす教職員像】 ○ チーム伊達崎小学校として、教育目標の達成を目指して前向きに尽力する教職員 ○ 児童を中心とした教育を展開し、子どもと互いに学び合い高め合い成長する教職員 ○ 一人一人の子どもの実態をとらえてその成長を一丸となって支える教職員	【働き方改革の視点】 ○ ブラッシュアップ＝目標設定・効率化 ○ スクラップ＆ビルド＝統合の視点と新規取組 ○ 協力＝認め合い・支え合い	【学校運営のスタンス】 ○ 前向きに教育活動に取り組むチーム伊達崎小学校を目指し、教職員一丸となって、児童を中心とした教育を展開する。 ○ 感謝と思いやりの心を忘れない人であることに努める。
---	---	---

令和7年度 桑折町立釧芳中学校 学校経営・運営ビジョン

<生徒の願い>

- 進んであいさつができるようにしたい。
- いじめのない学校にしたい。
- 明るく活気のある学校にしたい。

<保護者の願い>

- 授業を充実させてほしい。
- 進路指導を充実させてほしい。
- いじめがないように指導してほしい。
- ねばり強い人間に育ててほしい。

<地域の願い>

- 学力を向上させてほしい。
- ICT機器などを十分に活用し、時代に合った教育を進めてほしい。
- 不登校生徒へ支援を十分に行ってほしい。

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、 たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子

- 知** … 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。
- 徳** … 郷土愛にうち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。
- 体** … 心身共に健康で、たくましく生きるための体力を備えている

【教育目標】

- 自立** ～ 自ら学び、考え判断、行動し、自分を高める生徒 (知)
- 利他** ～ 思いやりをもち、協力して、他者や社会のためにつくす生徒 (徳)
- 健康** ～ 命を大切にし、心身ともに健康で体力を高める生徒 (体)
- 努力** ～ 何事にも真剣に取り組む生徒 (態度)

【目指す学校像】

- 生徒が夢や希望、志をもち、その達成に向けて努力している学校
- 生徒一人一人の学力を伸ばす学校 ～アンダーアチーバー10%未満～

<生徒の実態>

- よさ** ○ 素直である。
- 友達思いで優しい。
- 真面目でルールを守ろうとする。
- 課題** ○ 自分の考えをもち表現すること。
- 高い目標に向かって努力すること。
- 自主性
- 集団として高め合うこと。

<釧芳中学校の課題に向き合う教師像>

- 絶えず研究と修養に努める教師
- 授業改善に努める教師
- 諸活動を通して心身を育む教師
- 師弟同行し良きモデルとなるよう努める教師

今年度の重点事項

自立（知）～ 学ぶことをとおして自分の人生を切り拓く

- 生徒が互いに高め合う授業をします
 - ・ 桑折町探究型授業の実践
 - ・ ICT機器の活用
- 学力を定着・向上させます
 - ・ 学習の5つの約束の取組
 - 1 学習用具・宿題を忘れずに準備しよう
 - 2 始業1分前には着席しよう。
 - 3 はじめと終わりのあいさつを元気よくしよう。
 - 4 話は目と耳で聴こう。
 - 5 発表は大きな声ではっきりとしよう。
 - ・ AIドリルの効果的な活用
- 読書活動を充実させます
 - ・ 図書室経営の充実
 - ・ 読書習慣強化週間（各学期ごと年3回）の取組
- 志の教育を系統的計画的に進めます
 - ・ 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式、立志式、卒業式等の学校行事の充実
 - ・ 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育の充実

利他（徳）～自分を見つめ他を思いやり行動する

- 規範意識を高め、自主性を育みます
 - ・ TPOに応じた行動の指導の充実
 - ・ 落ち着いた給食、無言清掃、あいさつの奨励
 - ・ より良い釧芳中学校を目指す生徒会活動の活性化
- いじめ、不登校に丁寧に対応します
 - ・ 人間としての生き方について考えを深める道徳の授業の充実
 - ・ QUTESTの意図的効果的な活用
 - ・ いじめの早期発見、早期対応
 - ・ 組織をあげた不登校への対応
 - ・ 家庭と協働した生徒の自己肯定感を高める働きかけ
- 心の悩みの解決に努めます
 - ・ アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期発見・早期対応
 - ・ スクールカウンセラーによる面談の実施
- 地域との交流を深めます
 - ・ サマーショートボランティア、地域清掃活動への積極的な取組
 - ・ 郷土の歴史を学ぶ学習の充実

健康（体）～命を大切に健康を増進し体力を高める

- 健やかな体づくりと体力向上を図ります
 - ・ 目標が明確な保健体育の授業など体力向上の取組
 - ・ 部活動の充実
 - ・ 確実な保健検査の実施
 - ・ むし歯の治療、肥満の解消への取組
- 健全な生活習慣を形成します
 - ・ 学校給食を活用した食育の推進
 - ・ 「保健だより」「生活習慣改善に向けた授業」などによる健全な生活習慣の重要性の啓発
 - ・ 「生活ノート」を利用した個別指導の充実
 - ・ メディアコントロールの推進
- 命を守る安全教育を推進します
 - ・ 飛び出し防止と安全な自転車の乗り方に重点を置いた交通安全教室の実施、自転車乗車時のヘルメット着用の推進
 - ・ 防災教育、放射線教育の充実
 - ・ SNS関連防犯教室、不審者対応等避難訓練の充実
 - ・ 自殺予防対策の充実

○ 保護者との連携を強化し、協力して生徒の成長を支えます。

- ・ 保護者参観（授業参観、釧中祭、三者面談等）の充実
- ・ PTA委員会活動の充実
- ・ 学校だより、学年だより、保健だよりの定期発行
- ・ 学校ホームページの更新

令和 7 年度 こおり教育要覧

発行：桑折町教育委員会

〒969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地 7

TEL 024-582-2403 ・ FAX 024-582-2470

<https://www.town.koori.fukushima.jp>

献上桃の郷®



こおりまち
桑折町